時間表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

京城日報

發行兼編輯人　奧田直
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

七月二十四日夕刊（朝夕併せて八頁）

出兵問題

△○○輸送と到著

○○輸送に就き東淸鐵道にては多數客車長春驛に廻送中にて既に種々の用品驛に著他は今明日中に到著の筈なり（長春特電）

△輸送協議と長春

二十一日來長せる中村中佐は哈爾賓より來れる福井少佐と會見し輸送上に就き長春驛と協議の上廿二日正午南下せしが一兩日中再び來長すべしと尙ほ驛の一室を以て輸送事務所に充當する事となれり（長春特電）

△佛國兵浦鹽行

北京駐屯佛國兵千名海路浦鹽に赴く旨確なる筋よりの來電ありたり（長春特電）

△米軍需品發送

米國々務省は發表して曰く目下軍需品を浦鹽に向け發送中なり（合同通信京報）

◇反過激派氣勢昂る

哥薩克首領過激派掃蕩を期す

スパスカヤ附近にて敗退せる過激派軍は烏蘇里河及びアマン河附近に退却し司令部はハバロフスクに向けたるが如く其の後方にて哥薩克蹶起し反過激派的行動を開始せり黑龍哥薩克首領ガモフは過激派掃蕩を期し黑龍枝隊を編成せんとしホチカレーウオフ一帶の農民在鄕兵亦ガモフ枝隊と行動を共にするに決し商鐵從業員は過激派出命令不服を決議せり（哈爾賓電報）

◇セ軍戰鬪不利

日本人の戰死少からず

セミヨノフ軍は十六日以來戰鬪不利に陷り十八日退却其の他一部は支那國境に遁入し二十日其の左翼は包圍されつゝあり又セミヨノフ軍に從へる日本人の戰死少からず（北京電報）

◇滿洲里婦女子引揚

滿洲里危殆に瀕せる爲め我居留民總會の決議に依り萬一を慮り婦女子全部二十一日浦鹽に引揚げたり現在の處セ軍は國境前に獨墺軍を阻止せるも形勢尙ほ不穩なり（哈爾賓電報）

◇實業團派遣目的

米國の對露實業團派遣はケレンスキー時代にルート卿を派遣したると同樣の目的を貫徹せんとするものにてウイルソン氏の所謂人道主義に基くものなりと解せらる果して如何なる救濟方法を講ぜんとするか時節柄注目に値すべし（北京電報）

◇哈浦間列車運轉

廿一日より浦鹽、バグラニッチナヤ間列車開通せしより廿二日より哈爾賓浦鹽直行列車運轉せり（長春特電）

◇獨艇傳馬船擊沈

獨逸潜航艇一隻廿一日ケープブレット沖にて海岸より衆人環視の中に曳船一隻傳馬船四隻を砲擊し之を沈沒せしめたり飛行機は潜航艇を砲擊せるも敵艇は逃れ去れり尙ほ砲彈四個陸上に落下せるも死傷者無し（紐育電報）

◇陸軍要部更迭

軍司令官十九師團長憲兵隊司令官

二十四日左記の通り辭令ありたり（廿四日東京發至急電報）

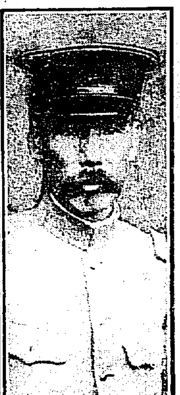
朝鮮軍司令官陸軍大將　松川敏胤
補軍事參議官

第四師團長　陸軍中將　宇都宮太郎
補朝鮮軍司令官

第十九師團長陸軍中將　立花小一郎
補第四師團長

朝鮮駐箚憲兵隊司令官陸軍中將　古海嚴潮
補第十七師團長

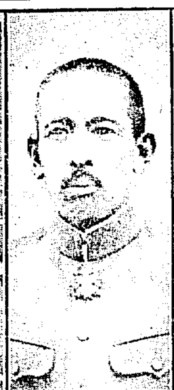
第十九旅團長陸軍少將子爵　高島友武
任陸軍中將
補第十九師團長



新補軍事參議官　松川大將

同朝鮮軍司令官　宇都宮中將

同第四師團長　立花中將



同第十七師團長　古海中將

同第十九師團長　高島中將

◇山縣公興津行

山縣公は二十五日興津に赴く可し（東京特電）

◇國庫證券募集

政府は外國爲替調節の目的にて近く臨時國庫證券五千萬圓を募集するに內定せるが利率は年五分償還期限五年以內なりと（東京特電）

◇地方米豐滿

農商務省にては七月一日現在地方米調査の結果豐富なりと稱し居れるか此際各府縣知事に對し賣惜みに對し嚴重取締方を命ぜり尙農商務當局は米價に就ては依然樂觀しつゝあり（東京特電）

◇買方巨頭警告

農商務省にては廿三日朝東京期米市場買方の巨頭伊藤延次郎に對し警告を發し買米を賣り今後買附をなす可からざる旨を命ぜり（東京特電）

◇政務總監金剛山行

◆山縣政務總監は此程日曜掛の三日を利用し公餘內金剛の觀察に赴かれた、天氣都合よりは政務の都合があるので過ぐる二十日前日來の雨空にも拘らず午前七時十分といふ朝まだき元山行列車に搭乘して出發する、隨從の面々には人見鐵道局長、久保京管局長、遠藤秘書課長、猪原朝鮮ホテル支配人杯といふ强よ相な向きが揃つて居る、平康驛に著くと東道の主人とあつて江原道長官李奎完氏が二三の屬僚と共に待受けて居た。

◆三臺の自動車に分乘して三十六里の長程を突然突破し長安寺に向ふ、金化面で晝餐を濟まし三臺の自動車は旅驛旅行を始めたが末輝里に往くと遠藤課長のが深さ三尺の泥濘に沒し落伍した外先づ無事に午後六時半頃長安寺の山門を潛る、喫茶の暇もなく政務總監を頭に附近の山林溪谷を跋涉して先づ金剛の山氣分を味はふ、八時頃ホテルに還つて夕食にありつき四方の笑話に花が咲く。

◆ホテルと言うても境內の朝鮮家屋に修繕を加へてベッドを据ゑた許りであるが頗る閑雅で、先客としては外國人も三四人泊つて居た、食後之と言ふ遊びもないので一同愉快に胡座をかき天狗俳諧を始めた、滑稽にかけては天狗揃ひなので面白い俳句も出來一同大笑ひで十時前頃にグード、ナイトを告げた、夜半には山嶽も震動する許り豪雨であつたが朝になり霽れ渡つたので一行勇氣百倍し先づ同地から十四五町の表訓寺に推し上る、具さに千餘年前の古閣若を尋ねて更に數町なる正陽寺の名刹を訪ふ

◆拆峰臺上內金剛の全景を展望すれば千嶽萬峰は一時の裡に落ち來る感がある、然山の分列式を觀る感がある、再び表訓寺に引返し午後は萬瀑洞の勝に向つたが前日來の强雨に水勢增加し平日に幾倍して居る、その萬瀑は一落餘の巨景と化し水煙を捲起して落下する光景實に壯絕の極みである、從つて二十町の深淵を周遊する事は不可能であつたが鳴淵潭上親知らず子知らずの險崖を匐ひ渉る時は全く生きた心地はなかつた

◆何時も政務總監が率先の訓練ある健脚を以て先頭に往くので隨員の連中は御苦勞さまであつたが、遠藤課長は確かに軟派の旗頭を以て目せられた尤も腹の具合が惡るかつたと上僕が立派でなければ他が困るだらうと思つたとは立派な樣な辯解である、二十二日は午前八時三十分ホテルを發し金化面で再び晝食を攝る前日の如し、平康近くなつて政務總監の自動車も遠藤君のもパンクしたので一同之が爲の閉口だが路の落もあつたが定時の汽車に接續して無事歸京したのは先づは目出度し目出度しである。（一隨員）

◇朝鮮製粉總會

朝鮮製粉株式會社は廿三日第一期株主總會を開き純利益を後期に繰越として散會せり（東京電報）

◇久原氏渡米

久原鑛業社長久原房之助氏は近頃健康勝れざるも保養の意味にて數箇月間米國漫遊の途に就く可しと（大阪電報）

◇大阪高商生消息

大阪高商學生二十六名は二十二日來奉同日撫順に赴けり（奉天特電）

◎天機御機嫌奉伺

山縣政務總監は二十四日午前　天皇皇后兩陛下並に東宮殿下に對し奉り暑中　天機並に御機嫌奉伺方を波多野宮內大臣宛發電したり

◎兩殿下天機奉伺

李王李太王兩殿下には廿四日午前　天皇皇后兩陛下並に東宮殿下に對し奉り暑中　天機並に御機嫌奉伺言上方を山縣政務總監に對し申出でられしを以て總監より其の旨波多野宮內大臣宛發電したり

◎巴爾幹の戰況

伊軍戰線推進

伊軍の新攻擊開始と前後して巴爾幹の對峙正面殊に伊軍の攻擊戰線たるアルバニア方面に動搖を起し伊軍はヴアロナ・モナスチール間に亘る正面より攻擊に轉じ墺軍を北方に壓退せんとして目下攻擊を續行しつゝあり是れ伊國が戰局の終局までに成るべく廣範圍にアルバニアを攻擊し遂き將來同地方を獲得して同國年來の宿望たるアドリアチック海の制扼を確實にし以て戰後の發展に資せんとするに存して伊國に取りては頗る有意義なるが此方面の戰況如何に展開するも獨墺兩國が既に確保せる小亞細亞地方との連絡を遮斷する希望は先づ無きものと信ぜらるゝを以て戰略上の影響は極めて尠かるべし

◎鮮鐵委託經營改訂

二十三日總督府に於て調印

朝鮮鐵道の滿鐵委任契約改訂は總督府對滿鐵の交涉終了し客月來中央政府の審議に移され居りしが兩三日前漸く審議終了原案に異議なしとの報あり乃ち二十三日入京中の國澤理事長は久保理事、上田秘書同伴總督府に出頭山縣政務總監人見鐵道局長との間に最後の協議をなし長谷川總督と國澤理事長の名により改訂別契約の調印を終りたるが其の要點は

一、營業上一切の權利を滿鐵に委任する事
二、滿鐵は爾後營業年度に於て政府投資額の百分の六に相當する金額を政府に納入する事
三、政府現在の鮮鐵投資額は五千百萬圓とす今後鐵道建設改良費の投下額を年次增加するものとす
四、路の建設改良費は政府之を負擔し線路の補充修理費は滿鐵の負擔とす
五、改訂契約は大正九年度乃ち大正十年三月まで有效とし大正十年度以降は新に契約を締結する事にして要するに朝鮮鐵道の經營は滿鐵に殆ど全部を委託され總督府は一定の報酬乃ち投資額に對する百分の六を每年收むる事となりたり唯鮮鐵の所有權は依然政府に保有されあるを以て鮮鐵經營の滿鐵京城管理局に對する監督は今後も繼續さるべく但しその範圍は自然縮小されし譯なり

◎西伯利の戰勢

過激派對反過激派

▲セミヨノフ軍　哈爾賓は東淸鐵道長官は反過激派軍の總大將ホルワット將軍の策源地にして西にセミヨノフ軍東にカルムイコフ軍を分派し極東過軍を兩斷せる現狀なるが西部戰線たるセミヨノフ軍は時に優勢なる獨墺俘虜の混合せる過激軍の脅威に抗し兵器彈藥に缺乏を告げホルワット將軍も充分の實力を缺き現狀に在りては一部を將軍の給與に一部を哈爾賓其他の資產階級の後援に依り辛うじて作動を繼續しつゝある有樣なるが資產階級の後援如何に由り戰局的ならざる除の旗色如何に由りては時に後援程度の加減あり此等はセ軍の尤も憂慮する所なるのみならずセ軍の最大苦痛とする所は兵力の不足に在り資產階級は主義に於てこそ反過激派たること勿論なるもさりとて自ら戰局の衝に當らんとするものに非ず之を除きたる爾餘の露人は不思議なる程無主義的なり過激派可なり反過激派敢て不可なるなく兩派の爭鬪の如きは對岸の火事なりされば兩派の兵とても傭兵にして謂はゞパンの爲めに戰ふものなり是れセ大尉等の行動自由ならざる理由の一なり大尉近來悟る所ありてか頻りに支那人蒙古人等を雇入れ其數萬人を超えんとするに至れり過激軍にも支那の傭兵ありて金の爲めに支那人間の爭奪的喜劇に日々中西方面に於て演ぜられつゝあり一時は海拉爾に退却し武裝解除さるとまで報されたるセ軍も近來右の如き狀況なり

軍の增加と資金の兎も角も潤出さるゝ爲め戰況次第に好況を告げトムスク、オムスクの都市に於てチェック軍の過激派軍を殺到せる結果過軍の旗色甚だ惡く其傭兵共の逃走を防ぐに困難の有樣なりと云ふ

▲カルムイコフ軍　東方派遣の反過激派軍カルムイコフ軍は久しくクロデコフ方面に於て一般在浦鹽チェック軍の過激派を鳥港の過軍と對抗しつゝありしが一擧せる結果クロデコフの過軍後方を脅かさるゝとこゝ亦西方過軍の如くにして自ら陣地を捨て、去り今やニコリスク、ウスリスキー方面に停まり居れり之とてチェック軍浦鹽より進まば一擧し盡すこと敢て困難なりとせず過軍の將グリトクはクロデコフの一戰に行方不明となり其首領株クラスノスチヨフ、トベリソン、ムーヒン等相踵いで逃走せり

▲西伯利亞兩斷　前述の如く西はセ軍今一步にして東淸、黑龍兩鐵道の分岐點たるカルムイスカヤ驛を占領せんとし東方カ軍は時にニコリスクを取得せば茲に東淸線は反過激派軍の手中に落ち黑龍カルムイスカヤ間は物資の運輸、旅客の交通安全且つ自由となるべく加ふるに黑龍鐵道も其咽喉を扼せらるゝを以て過激派軍は西方イルクツスク方面東方ハバロフスク方面に兩斷せらるべし其命數や知るべきのみ今日の處反過激派軍の成功は今一歩なりと云ふべく若し之に力を藉すものあらばイルクツスク以東極東獨立政府を形成せしめ得ること亦必ずしも困難ならざるが如し

◎急激なる積出を排す

移出餘力は頗る疑問也

仁川　奧田貞次郎氏談

買付米の移出に關し時機を參酌し不穩市場の實狀を考究して以て穩當なる手段の移出を遲られたく適當の方法を講ぜられん事を其筋に請願したるに對し世上

▲之が解釋を誤り　徒らに壁を大にして買付米の移出を阻止するもの、如くに見做し或は事を構へて之れに反對の氣勢を示せるが如きものあるを見識に痛嘆に堪へざるを思ふ政府補給の下に小西一派が買占を爲しつゝある實證を摑む事の聊か遲かりし憾みは勿論なきにあらざるも今日に至り既に時機遲しとするは當らずと云はざるべからず

▲若し一部論者の云ふが如く既に如何とも策の施すべきものなく又之等の事實に周章すべきに非ずと爲し其の爲すまゝならしめんか米界の前途果して如何に變轉すべきかは必ずしも識者を俟たずして首肯し得らるべし即ち仁川穀物協會並に一般當業者が其筋に向つて請願する所以のものは既に波瀾を重ねたる米界に尙ほ將來買付米の

▲急激なる積出に影響し如何に市場の攪亂を來し一般の人氣を强調ならしむるかを恐れ出來得可くんば之を未然に防遏せんとするに外ならずして而も尙ほ鮮內に於て充分の移出餘力を存し十數萬の積出し數も影響する處なしとせば何を苦しんで之が移出を阻止するの策を建てんや寧ろ鮮米の値を昂騰せしめ以て產業勃興の上に於いて吾人年來の希望として主張し來りし處なるも

▲正に之に反せん　とす常に採算上內地米の下鞘にありて始めて移出引合ふなるものなるに最近の米價は之をしも尙ほ喜ぶべしとなすか要は其の程度如何にあり今日の米界にては寧ろ其の前途の計り知るべからざる昂騰を來すやも知るべからずして一般の生活難は更に甚だしからんとす斯の如き理由を疎外して以て買付米の禁移を脫線せりと呼號するが如きは我等の取らざる所なり

▲大に移出せん事は既に端境期の迫れる今日果して幾何の移出餘力を存するやは頗る疑問なるのみならず吾人の見る處を以てすれば疾くも在米薄を呼びて市場常に緊張せるは數字上の算定は兎も角實際問題として爭ふ可からざる事實なりとす而も例年の移出狀況に於いて

▲八月以降は著しく其數量を減ぜるに見ても例年此の期に於て在米の減少せるを推するを得べし斯の如き事情にある今日米界の事情を顧みず而も謂はゞ誤れる手段の下に買付けられたる實米に對し移出するに何の不思議かあるこの態度は斷じて吾人の執る能はざる所なり唯市場の雜穩に歸するを待ち

▲米界人氣の平穩に歸るを計つて出すべきを出すの手加減を要望せるに過ぎざるなり殊に一言辯ぜざるべからざるは某消息通は仁川に尙七萬石の殘存米ありと主張すれど仁川現在の實米は僅かに四萬石に過ぎず而して小西一派の買付に懸るもの此の中三萬餘石に達し既に積出したるもの二萬石に及ばんとせり仁川の倉庫に在米薄きは之を以て證するを得べく又或者は曰く

▲鮮米の昂騰は寧ろ喜ぶべきものにして此の昂騰を壓せんとするが如きは脫線の甚だしきものなりと云へり然れ共鮮米の相場が內地のそれに比し更に上騰たるの場合果して移出可能なるものなるや鮮米を內地に移出する

◎敦賀仕向貨物

本年四月より六月に至る三箇月間に於ける敦賀仕向元山港通過貨物の數量を聞くに大豆二千五十九石（二千七百十九圓）小豆百六十九石（二千七百九十八圓）大豆粕四百九十一萬一千斤（廿五萬二百八十九圓）穀類（二百八十九圓）木材一萬九千二百二十四斤（五千六百七十圓）麴十二萬斤（四千九百圓）合計價額二十六萬七千八百十圓なるが以上の貨物は總て滿洲產にして日本海橫斷航路開始後六月迄同航路を利用して內地に仕向けたるものなり

◇警務總長後任

陸軍少將兒島惣次郎氏は廿四日中將に陞進朝鮮憲兵隊司令官に補せられたり（東京特電）

◎全鮮商議聯合會

全鮮商業會議所聯合會は來る九月京城に於て開催すべき事は既記の如くなるが開期に關しては未だ確定の運びに至らざるも多分九月二十五日より大連に於て開かるべき滿鮮商業會議所聯合會に出席の都合上多分九月十九日より三日間東拓樓上に於て開會さるべし而して同會出席者は全鮮九會議所の會頭（若くは副會頭）書記長等合計十八名なるべしと

◎鮮銀券發行週報

七月十四日より二十日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千百五十七萬圓にして週末發行高は六千二百三十六萬圓を示し稍膨脹の狀勢にありと

◎鈴木長官歸期

鈴木度支部長官は廿三日東京出發歸任の途に就きたるが廿六日歸京すべし

◎國澤理事長出發

入京中なりし滿鐵理事長國澤新兵衛博士は上田秘書役を隨へ二十四日午前九時五十分發列車にて出發したるが停車場には人見局長新田課長大田鮮銀久保滿鐵兩理事其他の見送り多かりき

▲視察日程　理事長一行は二十四日平壤下車小野田セメント線を視察し同夜平壤一泊二十五日鎭南浦視察海路兼二浦に向ひ平壤府時館に同地官民招待二十六日出發大連に直行の豫定なり

◎自治館生徒一行

東京三井家一族自治館生徒一行八名は廿四日午後一時十八分大邱驛著列車にて釜山より來邱稻苗場、紅慶館、西門市場、林業苗圃其他主要所を視察すべく一行は二十六七日頃京城著の豫定なりと（大邱）

途　群山

管務務部長巡視　新任管務務部長笠貞次郎氏は管內巡視の爲め二十三日午前十時四十分著列車にて來群驛頭には群山官民多數の出迎へあり群山滯在二日の豫定にて其間群山署管內警務狀況を視察し二十五日出發歸任の筈なるが二十三日來群當夜は官民有志の發起に成る料亭花月の歡迎會に臨みたり

◎兒童學講習　豫定の如く群山教育會にては兒童心學の泰斗高島平三郎氏を招聘し八月一日より向ふ一週間群山小學校にて講演會を開催することゝなりたるが兒童學講習の外通俗講演會群山案內懇話會群山海水浴場行、群山書籍商聯盟等あり遠地來聽者の爲めには食費不要なるは勿論旅館一泊三食一圓の便宜を與ふべしと

▲米商總會　群山米穀商組合にては仁川米豆取引所より協商し來りたる米價暴騰に對する鮮米禁移問題に關し十八日組合總會を開き協議する處ありたるが役員の多數は當業者として重大問題なるに依り宜しく組合の總會議に附すべしとの意見一致し該問題を附議すべく二十三日午後二時より臨時組合會を開催し凝議したるが詳細は後報すべし

人事消息

▲坂本憲兵中尉（支那番務顧問）　二十三日夜內地より通過奉天へ
▲松永京畿道長官　二十三日午後水原より歸任
▲足立瀧二郎氏（十八銀行京城支店長）　二十三日內地へ
▲新田慶北事務官　入京中の處二十四日午前十一時南大門發歸任
▲牧山代議士　北滿視察を了へ廿四日午後七時南大門驛著歸京
▲保科正明子（鐵務課技師）　二十三日附二日間の豫定にて黃海平康へ出張を命ぜらる
▲和川臟氏（鐵道局管理課長）　二十三日大連へ

★茶前酒後★

米國の飛行家ハタソン君が今月末頃來朝して東京大阪間の飛行郵便を開始すると云ふ事は既に報道した通りであるが▲之を聞いた佛國歸りの民間飛行家滋野駿太郎君は外人に先鞭を付けられ面目ないとあつて此記錄は自分等で作らうと奔走して居るとか▲飛行機と云へば日本でこそ飛行郵便が珍らしがられて居るが歐米では最う少々古臭くなつて居る▲獨逸飛行機などは獨軍の前線が英軍と間斷なき砲火を交へて後方と連絡不可能になると▲獨飛機は砲彈雨飛の中を潜りながら低空飛行で食料供給車の代用となり空中から牛肉の罐詰やビスケットなどの食料品をボタボタ雨の樣に味方の陣地に投下して逃げて行く▲まだ之れ位の事なら好いが例の米國の二萬臺の飛行機で伯林空中大攻擊も本貨になり相な處へ▲今度米國飛行顧問委員會は最近遠距離飛行工場技師で革命後亡命した飛行動力學の大家デー、ボセット博士を招聘した▲博士は大西洋を橫斷し得る純然たる新型飛行機を工夫する相な▲斯う飛行機がドシドシ進步して來た日には浦鹽から東京位は朝飯前で上海から出て九州四國本州北海道を一日の間に風の神の樣に荒し廻る事も平氣だ▲夫れにしても日本の飛行機を見ると實に心細いものだ避暑で轟客を爭ふ成金連はチト斯う云ふ處へ考へを持つて行つては何うか

拔擢されて極東課長
に新任せる總領事を訪ふ
京城には大正三年春から在任
米國の極東政策の展開として注目すべき也——久水外事課長談

米國國務省內に極東課設置され京城總領事ミラー氏事務課長に任ぜられたる事は既電の如くなるが氏を貞洞の總領事館に訪へば「私が極東課の事務課長に任ぜられた事は御紙に掲げられてあつた通りで

◎出發は 一週間後となるでありませう、私は大正三年三月ジドマー氏の後を襲うて來たのでありますが、夫以前は東京に居つたのであります」仕事をするか一向知りません」と他は避けて何事も語らず、總督府に久水外事課長を訪へば「米國は從來極東に對しては左程重要視して居らなかつたが、最近日本の

◎勢力が 牢固として根を張り且つ支那や西伯利等は時局益々混沌として局面が如何なる方面に發展して行くか豫測し得ないので極東政策遂行上事情に通じた者をして其の局に當らしめるために極東課を新設したのであらうと思ふ、ミラー氏は永く日本にあつて東洋の事情に精通して居るから頗る適任であらうと思ふ日本でも井上外務卿時代には亞細亞部

◎歐米部 と言ふ二部があつて各方面とも目抜きの者を採用したが英國でも矢張りさうである米國が極東課を新設したと言ふ事は極東政策の局面を展開せしめる上に於て注目すべき事であらうと思ふ」

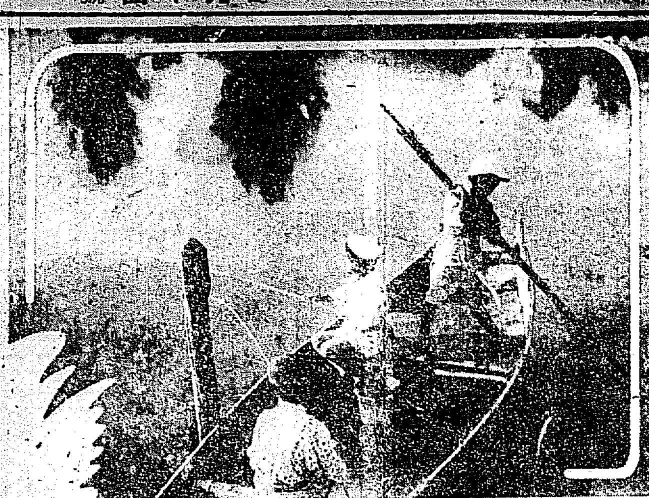
極東事務課長となつたミラー氏

花房子逝いて
祭る者もなき
花房公使事件の戰死者の爲に久水課長自ら墓前祭を行なふ

二十四日は明治十五年の花房騷動の記念日なるを以て當時關係者なりし久水外事課長は同日午後零時十分仁川に向ひ例年の如く墓前祭を執行したるが氏の談に依れば花房子爵在世中は戰死者の遺族及び官民多數參列の下に例年靖國神社で盛大な墓前祭を執り行つたが昨年逝かれてからは誰も花房子爵に代はつて墓前祭を行ふ者がない元農商工部の書記官であつた川上立一郎氏は病氣のために葉山へ轉地療養中であり李王職に在つた多田氏も京都に居るので今年は恐らく戰死者の靈に詣るのは私一人だらうと思ふそれにつけても往時を追想して轉た感慨に堪へぬと

刷新さるゝ學習院
新に制定の皇族教育令に依つて皇族殿下を御教育

帝大を始め我國の學校の制度は果してこうしたらよいか目下國家的の最も主要な研究問題になつて居るが我國唯一の皇族並に華族に就て社會の子女の教育所である學習院も時世の要求に添はぬ所が大分あると云ふので同院所管の宮內省では既に三年越の調査討究を重ねられて居る、今其の向の信ずべき消息通に聞くに學習院もいよいよ來年四月の新學年から根本的の刷新を加へる迄の案が出來、目下はその運用法を議せられつゝあるのださうで、尤も皇族殿下方の教育に就ては今後皇族教育令と云ふものが制定になつて目下の如く區々になつて居る皇族殿下の教育上に一定の順序を定められる筈であると云ふ事である（東京）


◇◇◆釣れる釣れる——子供の舟遊び＝[illegible]の池見

◎迎日水利の被害
[illegible]

瓦斯街燈が電燈に變る
京城市中の廣場に點る街燈
夏の夕、春の宵漫ろ歩きの人の爲に便利になる

京城府では近日中德壽宮前にある瓦斯街燈三基及び鮮銀郵便局前に在る瓦斯街燈三基を改良し總べて電燈に變更する相であるこれは

◆瓦斯燈 は冬季になれば地下の瓦斯管から地上に上る際に於て瓦斯中に含有して居る水分が外氣の寒冷に觸れて凝結し段々こんな事を繰り返して居る間に瓦斯の通路は段々と狹められ遂には瓦斯が出なくなる事すらもあつて結局瓦斯の凍結故障と云ふ者が絕えない事になる即ち當局では此の

◆故障を 無くしたい冬季間の凍結を避け度いと云ふ樣な立場から今度此の瓦斯燈を電燈に改めるのだと云ふ事である而して德壽宮前も鮮銀前も誰れでも知つて居る通り一基に對して二個宛の瓦斯が付けてあるが其の一個の燭光は今まで百五十燭であつた即ち二個一基に就いて云へば三百燭の燭光であつた譯である即ち從來は三百燭の瓦斯燈が三基灯つて居たものを電燈に改め而も一基に對して

◆二百燭 の電球を二個宛裝置する事になつてゐる即ち一基四百燭の電燈と云ふ勘定になるこれを以前の通り德壽宮前に三基鮮銀郵便局前に三基据ゑる事になつたそして該電燈に要する電線は市街美を保つ爲めに又危險程度から鑑察して總て架空式を採らず地下線とする豫定である尙ほ此の電燈は一基の

◆弧燈を 以てせんとの計畫もあつたけれど道路を明かく照らすと云ふ點から見れば矢張り一基の弧燈よりも寧ろ四百燭三基と云ふ目下の計畫が増しだと云ふ事である

廢帝銃殺は反過激派の
廢帝奪還陰謀露見せる爲也
露國勞農政府發表して言ふ

露國勞農政府は發表して曰く前露國皇帝は六月十七日烏拉爾地方勞農委員の爲に銃殺されたり其の理由は廢帝を奪還せんとする反革命派の陰謀露見せる爲なりと（倫敦特電）

兒玉將軍十三回忌を迎へて
廿四日東京で追悼宴の催し
——秀雄伯の故將軍追懐——

藤園將軍兒玉源太郎伯逝いてこゝに早くも十三年、二十四日の忌日には後藤新平伯委員長となつて藤園俱樂部主催の追悼の盛宴が午後六時から築地精養軒に開かれ兒玉家では

◆當日參集 の人々及び親友知己に今回特に編纂した『藤園記念誌帳』一帙を贈る計畫である右に就き兒玉家の當主秀雄伯は先考を忍びつゝ語る『早いものだ亡父が死んでからもう十三年にもなるがほんの先達てのやうな氣がしてゐる、當時僕は

◆朝鮮總督 府にゐたが故伊藤公が私を部屋に招いて『お父さんが死んだぜ』と言はれた時は私は隨分驚いた——亡父のことは自讚になるからあまり語りたくないが、亡父の性格をよく現はした挿話がある、父の姉は久子といふ今八十幾歲で現存してゐる人である、その人の養子に次郎彥といふ珍らしい

◆勤王志士 がゐた、維新前の事で、あまり激しい勤王論を唱へたゝめ二十三歲のとき叔母の面前で殺され、家は斷絕となつた、後その家が再興されるとき、當時十五歲であつた父が養子となつて後を繼いだ、でその叔母は姉であるが、實は母のやうなもので

◆見出した ものである、又父は生涯隨分叔母に盡した、父が逝いた後に紙筆に毛利元就公の遺訓で有名な『十箭一束』と大書した額がある、この句を私は今日まで標語として來た、私には十一人の弟妹があるが。その同胞が睦ましく協同努力しても、父の遺訓には及ばないかも知れない、實に父は西大から身を投じて皇室の藩屏たる地位に昇つた人で、われわれ同胞の責任も逆つて重い』（東京）

上海邦人强硬
居留民大會を開き加害者の處罰總領事の不信任を決議

上海に於て暴行事件に關する臨時居留民大會二十二日開催され參集者一千名被害者に對する賠償加害者處罰支那巡警の武器携帶禁止有吉總領事不信任等を決議せり然して因に市中は平靜に歸せり（上海特電）

★★★★ ◇◇北京より西伯利亞へ 出動準備忙しき北京の佛國兵

米の西伯利亞出兵に對し各國列國亦た同一方針を採る事となれるが佛國政府は既に北京天津の駐屯軍隊に出動準備を命令し臨時出兵する事となれり、而して其兵力は約一個大隊なりと云ふ（北京）★★★★

屋根崩落して
二名下敷となる
京城吉野町一丁目百二十二番地雜貨商崔慶化（三七）方にては廿三日午後二時廿頃家の修繕中俄然屋根崩落し屋內にて作業中なりし同人及び雇人なる長梅和の林乃根（三二）の兩名は其の下敷きとなりしも危く逃げ出して無事なりしと

白米五厘値下
二十四日京城白米小賣相場は三十三錢五厘となり前日に比し五厘値下げを爲せり

鮮人土工內地人四名を斬る
靜岡在の椿事
二十二日夜靜岡縣富士郡元吉原村高橋飲食店にて朝鮮人土工李奉[illegible]外男一名女一名と內地人四名と喧嘩の上鮮人は右四名を滅多斬し被害者は四名共重傷然かも生命危篤なり（靜岡）

飛行機學校設立が初期の目的
記者團招待席上に於ける上村少將の報告

既報の如く帝國義勇飛行會上村少將は京城記者團を京喜久に招待し事業に關する報告をした其大要は朝鮮在住の官民有力者の後援に依つて初期の目的を遂げたる場合は朝鮮に自動車及び飛行機學校を設立する計畫であるが其豫算は學校建築、設備、自動車飛行機購入費其他豫備費合計八萬一千七百圓でグラウンドは最小限三千坪として寄附を受くる見込みである併して自動車部は月謝二十圓飛行機部は同九十圓とし附帶事業として地方自動車の修理等もするとの事

自動車に轢かれた老婆絕命す
二十三日午前九時頃京城黃金町三丁目路上にて自動車に觸れ右腕肋部を骨折され黃金町二丁目の金召史（六〇）は加療中なりしが二十四日遂に絕命せり

鶴滿寺出火
紀伊と古い鐘にて知られたる大阪の名刹鶴滿寺は廿三日朝出火せるも幸ひに本堂一部の燒失にて鎭火せり（大阪特電）

少女と豹
慶北醴泉郡廿里面西洞楓守岩妹千蓮（一二）は十一日午後六時頃自宅附近にて突然一頭の大豹に咬傷されしが輕傷にて生命に異狀なし

◎金川判事夫人
京城地方法院判事金川廣吉氏夫人は廿三日夜總督府醫院にて永眠せり、葬儀は二十四日午後[illegible]

讀者文藝
▲俗謠「扇」選[illegible]

[illegible]

西鮮お伽旅日記（上）
◇安東と義州
[illegible]

商況
[illegible]

◎正米續て下押 [illegible]

約二十錢安高値四五十錢方下落 [illegible]

各地方又高 [illegible]

結局爆發相場 [illegible]

新大麥高內 平安道新物七圓二十錢にて出來 乾燥不充分 [illegible]

新小麥弗々 [illegible]

支那粟手控 人氣弱 黃海道上物十六圓 [illegible]

大豆不活潑 驛渡し十四圓三 [illegible]

◎白米は區々 [illegible]

◎小賣白米引下 市中一般三十二錢五厘 [illegible]

◎染料昂騰す [illegible]

割方の急騰 二割乃至三割 ラミンは一躍五割方奔騰 [illegible]

◎平板又引締む 引上十錢方 [illegible]

◎錫價引締まる [illegible] 五圓

下關相場 [illegible]

各地商況 ▲群山正米（二十二日）[illegible]

釜山物產市場 廿三日 [illegible]

南大門廻穀 [illegible]

仁川正米 [illegible]

仁川期米 二十四日前場（續て暴落）東京の成行 [illegible]

▲期米又復暴落 [illegible]

市場雜觀 [illegible]

仁川米豆取引所 廿四日の九月限 [illegible]

白米小賣値 一等白米三十二錢五錢 二等白米三十二錢

白米標準値 三十一圓七十錢

秋播種子荷揃 大田本町二丁目 松田商店

叺繩莚 穀物叺石油叺及商道用莚各種 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二番

仁川米豆取引所仲買人 今仲買店

東京米豆取引所仲買人 倉 [illegible]

◎北支那古代文化の跡
床しき古美術
工學博士　關野貞氏談

（一）

左に掲ぐるは關野工學博士が北京滯在中隨意に試みたる『北支那古代文化の遺跡』に關する談話の大要にして右談話は北京日本人團にて北京大和俱樂部に於て博士の歡迎會開かれし際席上博士の講演せしものなり因みに博士は二十五日北京出發上海南京其他を經て來る十月印度に入るべき豫定なり（北京）

私が北京を出て先づ最初に京綏線の終點張家口より約三十支那里

◆**雲崗**　へ行きました此地方は全部砂岩石で北魏時代の石窟が數百ありましたが中で代表的なものが廿四五ありますその內に隋時代のものが一個だけあります是等の內で最も大規模なのは石佛寺の後にある石窟で廣さが七十尺深さが六十尺その中に大佛を掘り殘してありまして其の高さが五十五尺あります四十尺五十尺の像は澤山ありますが五十五尺と云ふのは

◇◇他にないのである◇◇

其の像の中指の長さは八尺あり足裏が十六尺で膝と膝との間が五十一尺ありますそしてその洞穴の壁や天井には無數の佛像や彫刻がありますそれから一度北京へ立ち歸つて京漢鐵道にて琉璃河まで行きそれより房山鐵道に乘りかへて

◆**房山**　行き周口店驛で下り支那里の五六十里も行くと房山で此地方は凡て石灰岩で茲には有名な隋唐宗の寺で雲居寺と云ふのがあります此の寺は他にあまり類のない程盛んな寺で僧が百人程居り建物も多くその寺で出す料理などは中々甘いものです茲に南塔（遼時代のもの）と北塔（曹時代のもの）とがありますそして其の四周にある彫刻などには却々善いものがあります茲の東に東峰（小西天）と云ふ峻嶮な青山がありますその胸のあたりに隋時代の石經洞と唐時代の大きな碑が二つあり其他に遼金元時代の石經も澤山ありますが今は凡て洞內に封じてあるので見る事が出來ないのです併し景色は甚だよい處でありますそれから

◆**龍門**　へ參りました茲は河南より四十里程南で嵩山の支脈が中斷して兩岸絶壁となつて居る間を伊水が流れて居るのであります此の地は黑大理石の岩山で七八町程の間は水も淸く景色も非常に善くあります東に香山寺西に潛溪寺と云ふ二つの寺が川を隔てゝ相對立して居ますそしてその兩岸に

◇◇多くの洞窟がある◇◇

其の主要の者は皆西の方にありますのが北より數へて三番目のものが最も壯麗でありますこれは北魏時代のもので賓陽洞といひます其の他に北魏時代のものでは第十三洞（蓮花洞）第十七洞（魏字窟）第廿一洞（老君洞）などが代表的のものでありまして隋時代のものでは第七洞第四洞などが代表的のものであります

◆**其他**　唐時代のものが無數にありますが第十九番にある唐高宗時代に作つた奉先寺の大石像が最も有名であります此大佛は高さ約三十五尺で十尺許りの臺座の上に坐して居ます龍門では拔群の大さでありますが雲岡に幾つもある者より小さく

◇◇技術も唐代の精髓◇◇

を發揮した見事の者でありますが私はどちらかと云へば寧ろ雲岡の方に賛成します又大佛の兩側には阿難迦葉兩菩薩二天仁王の大像が並んで居て規模の壯大なのは驚かされます一通り

◆**雲崗**　や龍門を見て北魏時代と唐時代との技術を比較すれば北魏時代よりも唐時代の方が無論技術は進步して居りますが北魏時代の者は

◇◇兩者で崇高で意匠◇◇

が甚だ豐富で熱烈なる信仰的態度が漲つて居ります隨つて技工的には唐時代の者が勝つて居るが精神的には北魏時代の方が秀て居ると思はれます先づ支那に於て

◆**藝術**　上の大遺蹟は雲岡と龍門とが兩大關で又世界に於ける一大奇蹟であらうと思ひます

◎南滿の機業
奉天の織物業（二）

◇◇**職工**　職工數は何れの工場にても機臺數に比し多き感あるが準備工程より製織に至る迄を通じ機臺一臺に付平均三人を使用せり

◇◇**織賃**　平織愛國布一反三十錢、紋織愛國布四十錢、粗布一疋四十錢、大尺布は十錢なり

◇◇**織機**　大部分はバッタンの手織機によるも、前記天增利工場に於ては四五臺の足踏織機を使用せり。又紋織には二百口のジャカードを使用するものあるも其數多からず。面單なるものは六枚又は八枚の綜絖の轆轤仕掛の足踏に依れり。絲の買入竝に製品の販賣原絲の買入は、稍規模大なるものは自己の計算に於て市中の綿絲商より仕入れ、製品は市中の問屋に賣約するも、小規模のものにありては原絲と製品を交換しつゝあり。

◇◇**原絲**　使用原絲は綿、愛國布は經緯共二十手を用ゐ、又經絲に四十二手緯二十手或は四十二手を經緯とし或は六十手を經とし四十二手を緯とするものあり。又四十二手に代ふるに三十二手を用ふるものあり。要するに愛國布とは粗布及び大尺布を除きたる以外の綿織物の總稱にして、主に撚絲を用ゆるもの多し

◇◇**粗布**　は經緯に十六手を用ひ八封度乃至十封度のものなり。大尺布は經十六手緯十手位のもの多し。

◇◇**保護**　獎勵機關一も見るべきものなく僅に貧民子弟の爲めに奉天省立女工傳習所、貧民習藝所あり。外交部奉天交涉署を通じ前者を一覽せるに、同所は六年前の設立に係り育嬰、紡績、縫紉、編物、造花、刺繡の六科よりなり、女子十五歲乃至四十歲のものを入所せしめ、一箇年間を以て修業期とし官費を以て支辨するも修業後半箇年間は同所に於て就業するの義務を負はしむ。而して此等生徒及び卒業生の製品は、別に販賣店を設け販賣しつゝあるが、一箇月の賣上高は八九十圓多き時は四五百圓に上ると云ふ。其收容人員は百名限りなるが、現在迄に既に卒業生七百名（同所長の言ふ所）に達すと云ふ。經費は一箇年一萬元なるが、大部は敎師の俸給ならん。

◎今度役に立つ 輕迫擊砲
とは何んな物か 日本での發明

新武器として輕迫擊砲の名を聞くこれは今度出兵するこなるこ步兵が携帶して行く事になつて居る武器であつて步兵が機關銃や小銃だけでは理想的な戰ひが出來なくなつた事を物語るものである此輕迫擊砲は一昨紙記載の如く東京の陸軍兵器本廠から小倉兵器支廠北方倉庫に到着して既に之が操縱の敎授が始まつて居る大分、福岡、小倉北方の各聯隊より選拔された下士數十名が小倉の練習場で裝彈法射擊法運搬法等の敎授を受て居る

◇◇輕迫擊砲とは怎麼◇◇

質のものであるか其詳細な組立等は明言されないが茲には此の武器の歷史性質などを紹介して置く迫擊砲は目下歐洲戰場の塹壕戰などで最も有力な效果を現はして居る。怎麼所に使用されて居るかと云ふと最も近接した塹壕內にある敵を攻擊するには最も力がある完全な塹壕の中にあつて活動して居る敵を攻擊するには小銃や機關銃では彈丸が塹壕の上を辷つて行くだけで何等の効力がない、これは怎うしても塹壕の上部から彈丸を打ち込まなければならぬ、これは飛行機より爆彈を投下するにも餘り適確でなく、殊に目の前に敵を置いて居る味方の塹壕からは何等の攻擊も與へられない

◇◇此の要求を充す爲◇◇

に作られたのが迫擊砲である、此の砲は一旦彈丸を上部に打ち上げて敵の塹壕の上部に之を落下せしむるのである、小銃や機關銃が直線的に彈丸を飛ばすに反して之は曲線を描いて丸の落下するのが特徵で塹壕戰には缺くべからざる武器である。各國とも各特徵ある迫擊砲を持つて居るが日本の輕迫擊砲は最も

◇◇自信のある武具で◇◇

實に怖るべき威力を持つて居ること事である。處が此迫擊砲は歐洲戰に於ける發明品ではなくて之が發明は遠く明治三十七八年の日露戰役に日本軍が之を使用したものである。勿論當時は今日のもの程精銳な武器ではなかつた日露戰爭に使つたのは實に普通民間に使用されて居る煙花筒であつた。當時深い塹壕にある敵兵こか、或は山上の塹壕にある敵に對しては殆んど攻擊の方法がない小銃などは直射的に出來てゐるからいくら打つても駄目である。處が

◇◇或人の思ひ附きで◇◇

煙花筒をすぐ山の麓に据ゑて丸や彈丸を込めて打ち放した、勿論狙ひもなければ又方角も定められないが十發に一發は敵の塹壕を打ち碎くこ云ふ效果を現はした、最初は煙花と同樣火繩を使つてやつたものであるが後には漸々之を巧に使用する樣になり旅順戰や奉天戰其他で盛んに使用し中々

◇◇其效果を認めらる◇◇

る樣になつた、最初竹の輪を入れた煙花筒其儘を使つたものが後には鐵筒となり照準もつける事が出來る樣になりこ云ふ階段を辿つて今日の迫擊砲こなつた。或る將校は曰く『別に六かしい武器ではないよ。つまり道具が野蠻になつたのサネ』、一秒時に八九町も飛ぶこ云ふ速かな小銃彈よりも此の煙花筒を元祖こした銃の方が役に立つ場合がある樣になつた

◇◇目こ鼻の間にある◇◇

敵壕中の敵等に對しては最も恰好の武器である。使用法なごは大して六づかしくないのである』機關銃こ迫擊砲西伯利にも矢張此等の恐るべき新武器が必要こさる、程差し迫つた事情があるらしい

◎合辦の漁業

日支兩國合辦にて渤海海峽漁業公司の設立の計畫進行中なりと傳ふ其の資本金一千萬元日支兩國より折半負擔漁撈區域を唐沽、新河、青島、芝罘島の四處となすと（北京）

◎平壤と果實

平壤に於ける果實界の一般を見るに本年は市況頗に昂上せる結果昨年同期に比すれば著しく活氣を帶び斯界旺盛を極めつゝあり尤も諸物價騰貴に起因し之が相場の如きも比較的頑調を保ち居れり、現在は苹果桃の季節にして南鮮產紅魁最も搬入旺盛を極め中成子（一名祝）亦可成廻著しつゝあり市價は紅魁、祝共三貫入一圓八九十錢以上二圓四十錢見當也桃として南鮮產天津水蜜桃出盛りにて三貫五百個入一圓九十錢以上二圓六十錢を唱へ、土用水蜜桃も出初めたるも相場高く二圓五十錢より三圓五十錢位のものなり其他米桃は二圓七十錢より三圓五十錢を示し何れも相當の取引を收つゝあり（平壤）

新小麥…安し

本年產新小麥の平壤市場へ廻著しつゝあることは既報の如くなるが其後黃海道產同品の約千石の荷を見、品質乾燥不良の爲め十七日頃十三圓臺たりし市價は二十一日には十一圓臺に低落を告げたるも這は一時的の現象として遠からず相場を恢復するに至らんと（平壤）

◎新任聯隊長

新任大邱步兵第八十聯隊長步兵大佐長野郁磨氏は二十五日午後一時十八分着の急行にて舊任地和歌山より着任の筈なり（大邱）

◎群山と細民

群山に於ける二十日現在細民[illegible]（大邱）

總會彙報

◇**釜山共同倉庫會社**　廿三日午後釜山商工俱樂部に於て株主總會を開き當季決算は一萬餘圓にて其分配四百圓は法定積立八百五十圓別當積立八百四十圓重役賞與四千圓（年一割）株主配當四千四百餘圓後期繰越金なりと營業は年一年其成績良好にして前季は株主配當七朱なりき（釜山）

◇**全州農工銀行**　にては來る二十七日を期し定期株主總會開催の筈なるが本年上半季に於ける成績頗る良好にして配當率は例年の通り年八步に止めあるも今回は農銀最後の施設として更らに株主に對し特別配當一割へ分配を爲す事とし重役改選並に功勞金贈與等を立つべき事ある由何れ岩崎支配人は語り居れり（全州）

◇**大邱銀行**　にては來二十七日午後一時より銀行樓上に於て第十期（上半期）定時株主總會を開き大正七年上半期財產目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書承認の件、大正七年上半期營業利益金處分の件を附議し終て臨時總會を開き監査役一人の補缺選擧の件、定款第二十條變更の件を協議すべしと因に同行は鮮人株主の主なる主さする資本金五十萬圓の銀行なり（大邱）

◎浦鹽と日本婦人
人連の大活動　各國人舌を捲く

チエック軍負傷者を看護すべく特に菊池浦鹽總領事夫人等の發企に依り篤志看護婦團組織せられ熱心事務の練習を始め基金の寄附も續々到着しつゝあるが時局切迫こ共に參加婦人日一日こ多く連日浦鹽領事館內にて菊池總領事令息をモデルに繃帶卷の練習を爲し居れるが出兵決定の報を得て一層色めき立ちつゝあり商業學校の大講堂にてチエック負傷兵慰問義捐金募集の爲催されし聯合國婦人大音樂會には日本代表こして是亦篤志看護婦人中より出演せり是等は浦鹽に於ける日本婦人空前の事にて健氣なる活動振りは內外人共に何れも驚嘆し居れり（浦鹽）

◎氣の附かぬ事

料理の記事などに何勺とか匙に何杯とか云ふやうな事が出て居りますが扨て其分量は何の位でありませう、簡單に左に記して置きます

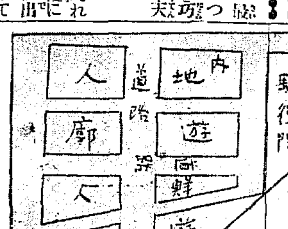
（米一升）は凡そ三百八十匁（醬油一合）は凡そ五十三匁（鹽一合）は凡そ二十三匁（砂糖一合）は凡そ二十五六匁（氷柄杓）は凡そ五六合入（小さき竹杓）には凡そ五勺入一合入（龍の茶湯茶碗）は凡そ一合一勺入（西洋料理に用ふる大匙）は七杯で一合（中匙）は十四杯で一合（小匙）は廿八杯にて一合

◎成歡の戰蹟
戰歿者追弔法會

例年成歡行志によりて擧行された成歡戰歿者追弔法會は本年より成歡戰蹟保存會に於て擧行することゝなりたるにより來る二十九日午前十時より松崎大尉記念碑前に於て天安佛敎會堂主任金賓泰禪師及淨土宗曹洞派布敎所主任小野鼎瑞氏を招き盛大に追弔法會を施行する由に各地より多數の參拜を希望すこいふ（成歡）

◎兼二浦遊廓
◇內鮮人遊廓地決定す◇

兼二浦指定遊廓地たる東兼二浦里の一部は十八日黃州より田部警察署長來兼して道路及び內鮮人遊廓地を決定せるがため近々營業者は建築に取り懸るべしと（兼二浦）

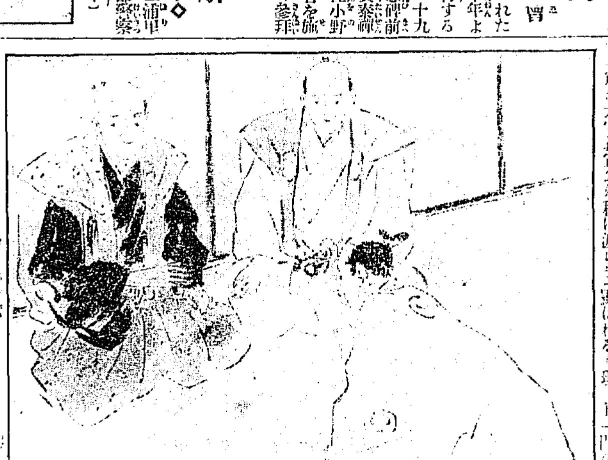


新設兼二浦遊廓地（五十坪）

◎乞食の樣な服裝を改む

新義州の人力車夫と來ては其の服裝の汚ないことは朝鮮一で之が爲め程棒を振らなければ乞食を間違へるほどに見苦しかつたが今度新義州署では從業者一同を召喚して人力車夫は今後法被を著る乃至見苦しからぬ服裝をなすることを嚴達して五日以內に改むべきことを申し渡したから今後は從來の樣な見ッともない風をした車夫が無くなることであらう（新義州）

漢江觀火大會延期
七月二十七日　午後八時開催



塚原卜傳
第百四十六席　悟道軒圓玉口演

八山熊吉が懷中から取出しました書狀、作藏が手に取つて見ると乃ち伊達兵庫より佐竹彈正宛て送りました文、其の返しの打合の狀であります、作『熊吉、何うして之れを御邊が持つて居る』熊『それは私が小松四郎兵衞と懸合して小田原城から取出して參りました、先日もお話し申上げた通り、實は彈正の屋敷へ朝夕立ち廻りまして或日の事フト文庫の中から見付け出しましたのが此書面でございます、依て主家橫領の企てあつて佐竹の名は佐竹彈正殿、伊達兵庫よりの力を借りたい所存、彈正もまた主家を覗ひ大守龍寶公幼稚に渡らせ給ふ所から自分の子息長一郎を以て八十萬石の家を相續させ度き心願の所、世の中には同じ企てもあるものと直ちに同意したるに依つて其後は屢々書面の往復をいたして居つた事は此書面にも記してございますが、其書面には愈々自分方も主人大膳大夫輝宗を仆して米澤の城を手に入れ、次に隣國最上家を征伐して奧羽兩國の主となり豫てお賴みして置いた通り、兩家力を合せて次に佐竹の宗家を仆し常陸一國は貴邊の領地となし、小田原なる北條は味方なれば三家兵を合せて武田を助け上杉を仆し足利將軍已に三好のために討たれて今天下に主なきを幸ひ、京都へ上つて天下の政權を握り、榮花を極めの意の如く擧動はん其機は已に熟したれは御用意あつて然るべく、まづ兩家盟約の證として子息長一郎と娘八重姫の婚姻を取急ぎたくと猶其他に打合せの條々を認めてございます、之れは宜い品が手に入つたと後の何かの證據にと思ひ其の儘取つて衣服の裏に縫ひ込み、肌身離さず持つて居りましたものゝ此頃の騷ぎに取紛れ小太郎樣へお見せ申すも、ハタと失念いたして居りました、その書面では兵庫も伊達家の逆臣、輝宗公を打たんと作略は明白でございますから之れを見せたら何で御當家へ門を引きませうか、また佐竹の御家でも此書面があつたら彈正の惡事は明白となり、小太郎樣はお家の惡人を退治た大功、大忠臣こあつて御歸參に異議を申すものはございますまい、さうなれば磯端樣の仰しやる通り御三家反つて水魚の交はりとなり、小太郎樣の忠節も世に顯はれる道理、即一門の方々も皆折劾のおあんなさる譯でございます、何と左樣ではございませんか』と初めて出た書面に就いて熊吉が述べる言葉、小太郎初め一同アッと喜び　小『これは熊吉生涯の大功だ、能く斯樣な書面を手に入れて吳れた、之さへあれば何よりの證據、拙者の苦衷も世に出る、忝じけない』作『成る程大したものが手に入つた、伊達兵庫まで主家を窺ふ惡人とは今まで氣付かんであつたが、恁う分れば伊達家にて何條宗家へ恨みを含まんや、太守にも之なる書面を御覽になつたらさぞ御喜びであらう、此上は片時も早く太守へ申上げた上で伊達佐竹兩家へも使者を遣はすことにいたさう』小『シテ其使者は……』と云ふ時に襖の外から　○『其使者は御苦勞ながら磯端伴藏殿を煩はすが適當でござらう』と聲を掛てサラリと襖を開いて入つて來たのは當家の家老上原大藏主計頭、延澤能登守の兩人でありますから一同席を退いて頭を下る、兩家老は『委細は次にて承はつた、斯る證據ある上は何か難からんや大守にも御喜びであるべきに依つて大儀ながら磯端氏、之れより米澤へ赴き伊達家に說き諭しまた水戶へ赴いて佐竹家老に逢ひ小太郎殿歸參の儀を申入れるやう、萬事は貴殿の方寸にお任せ申す　作『畏まりました、然らば速刻出立いたすでござらう』と作藏名代の智者でありますから貴下に受け合ひましたが之より秀國が兩家へ說客として赴く一條。

京城本町二丁目
正氣堂
電話二一九五番　振替京城一二八三
▲御一報次第見本送呈

七月廿六日　九紫
舊六月十九日　甲戌
本命二黑坤平赤口

▲一白●不得手の事有日新事手控事は吉小兒衛生水難注意　▲二黑●猶豫を見らるゝ事有新口事見合せ東方は吉商取引は用心の事　▲三碧●撲關主義の事有日新事手控事は吉取引は用心の事　▲四綠●牛信牛疑の事有日新事手控　▲五黃●立られ事は吉保證連帶等を禁ず　▲六白●吉祥の日轉居入學命件名求職建前出遊婚姻等吉　▲七赤●好況の日轉居開業入學名乱探職業紛　▲八白●職金融紛組合皆吉物に勝の日　▲九紫●成効の日轉居開業旅行名弘入學命件求職婚姻

京城本町
千代田號印舖
電話八九七番　振替八九七七番

演藝案內

有樂館　東京小林商會直營活動寫眞常設館　早川演藝部直營　米國ユニヴァーサル會社特約　電話（略）　七月十九日より公開　米國ユニヴァーサル會社特作連續劇三回◎人情活劇『山家の娘』全五卷　◎世界的大偉人『サムソン一代記』　第五回『ダイヤノ一』編十七編三十四卷

大正館　櫻井町　電話八七三番　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　當る十九日より新寫眞提供　●實寫　●喜劇　●伊太利コロナ會社傑作　探偵活劇『片腕』全三卷　●新派悲劇『檻褸錦』全四卷　△新派悲劇『律の國家』全四卷　△尾上松之助一派大正劇

黃金館　電話二三六三七・二三六六　京城實業會社直營　天然色活動寫眞京城一手代理店　當る七月廿二日より臨時特別興行　米國キストン會社作　米國パテ會社作　滑稽チャプリンの總理大臣　▲連續大活劇『第四百萬弗の秘密』第八篇　▲新派悲劇『ひな祭り』全四卷　▲伊奧戰史『マチステのアルプス兵』

壽座　京城壽町　電話五七八番　新派さよ浪會一行　當る七月廿四日より　小島千九紫氏作『持恨歌』七場

浪花館　明治町二丁目　電話二六〇番　京阪落語萬歲合同一行　毎夜午後七時より開演

壽館　京城本町　電話一〇五〇番　▲各派聯合納凉淨瑠璃大會　▲木戶無料

株主となる捷徑
最も輕便にて買易き趣味に富たる方法にて
各株式現物販賣
證券案內御申越次第無料進呈
大連市駿河町一九　滿鮮證券信託株式會社　電話二〇二番・二六五三
京城府明治町二　滿鮮證券信託京城支部　同出張所　仁川宮町
株券が手輕に買へる

新式灸術
開業一週年紀念半額
かつけ病には特に効あり
本町二丁目釘本商店前橫通坂下
伊藤灸術專門

下痢・腹痛には
ヘルプ

公債株式現物問屋
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電話長一一八八・五七〇番

北海炭鑛の活躍
○○○○○
鐵道院の納炭契約も滿期となり今季の契約も更に新高値を以て契約せり同社の利益は益々增加し…（以下略）

朝日旅館
瀟洒にして凉しい新築の客室を有する丁寧な旅館は
平壤幸町通り憲兵隊前
電話四〇九番

同和東號
電話一五一〇番

土地家屋賣却
一、京城府長谷川町十七番地　瓦葺煉瓦造二階建本家（建坪六拾參坪參合三勺）
一、京城水標橋町三十七番地　瓦葺煉瓦造二階建本家　平家（同）（面積百四拾八坪）
右ノ土地家屋附ノ儘賣却致シ度候ニ付御希望ノ方ハ左記へ御來談被下度候
京城長谷川町七十番地

兼二浦製鐵所
木村林次郎
小生今般三菱合資會社總務部ニ轉任近々東京ニ歸任可仕在鮮中ノ御厚誼ニ對シ御禮申上度旁々茲ニ謹テ御挨拶申上候
東京住所ハ從來通リ本郷區駒込林町十六（電話小石川一一〇七番）ニ御座候

美顔白粉

美顔白粉の優秀なる理由に就て或る程度まで製造上の秘密を公開致し候

第一　美顔化粧料製造の設備

(一)桃谷研究試驗所　(二)工場の組織と設備
(三)栽培園　(四)製藥場

△一　桃谷研究試驗所

1 設立　大正元年九月

2 所員
所長　藥學士　桃谷幹次郎
技師　理學士　西澤勇志智
同　醫學士　米倉昌達
同　藥學士　小磯勝次郎
同　千葉藥學士　齋藤銳助
同　藥學博士　丹波敬三
同　醫學博士　山本[illegible]　二氏

3 組織
(第一部)醫學部　皮膚醫學と化粧品との關係に就きて研究する機關
部長　醫學士　米倉昌達
(第二部)原料部　化粧品に使用する各主要原料の性狀等に就き研究し原料の改善進歩を計る機關
部長　理學士　西澤勇志智
(第三部)創製部　各種化粧品の創製に就き研究する機關
部長　千葉藥學士　小磯勝次郎
(第四部)製造部　美顔化粧料製造に使用する原料を精密に撿査し製造工程を監督する機關
部長　千葉藥學士　齋藤銳助

4 設備
試驗室四　精煉室二　分析室一
藥品室一　香料室一　天秤室一
標本室一　圖書室一　暗室一
(其他)

5 謹製室
尚別に各高貴方御誂へ品は、特に謹嚴の念を以て、研究試驗所階上に謹製室を設け、特撰せる技師技手及び工女を監督し、技師小磯勝次郎謹製の事を擔當す。

△二　工場の組織と設備

1 實質製造部
研究試驗所の撿査に合格したる原料を主任技師監督の下に調合し、最新式の器械にて製造す(人工よりも器械力の方製品の精巧均整を得る事及び生産能率上有利なる事言を俟たず故に可及的器械力を應用す)

2 機械部
可及的人工を省き器械力を應用する方針を以て此部に於て製造に要する各種の器具器械に就き研究製造す。
主任　田邊精　高等工業學校出身

3 仕上部
實質を包裝して市場に販賣せらるゝ形態を備へしむるに到る各包裝工程は專ら衛生上の周到なる整ごを期す

△三　桃谷栽培園

1 設立　大正六年六月
2 所在　神奈川縣久良岐郡六浦荘村(八景を以て名ある武州金澤)
3 所員　園長　醫學士藥學士(兼任)　米倉昌達
主任　技師　宮川一壽
4 目的　香料其他藥品原料を、海外よりの輸入に俟たずして本場に於て製造するに到らん事を期して開設せるものなり。

△四　製藥場

1 設立　大正四年七月
2 目的　化粧品の主要原料を輸入に俟たずして本場に於て製造するに到らん事を期して設置せるもの。既に種數重要原料は本場にて製造しつゝあり。

第二　優秀なる理由に關して

は昨年東京に開かれたる化學工業博覽會への出品に際し審査上特に公開せる全文を掲げて御參考に供し候

△一　原料に就ての研究と注意

1 主要原料の細微と均等
白粉の主要原料として普通市場に販賣するものは、必ずしも分子の細微均等を保し難き場合少からず。如何となれば其製造業者が該原料を製造するに際しては、蒸氣狀態となりて飛散するものを、連續せる數個の容器を以て收拾するに方り、往々嚴密なる分子の均等を缺く事あり。一方また製造より發賣に至る諸工程の間に、化粧品の原料としては不適當と認むべき程度のものも時に混在するに至る虞無き能はざるが故にまた必ずしも分子の微細を期し難ければなり。

當試驗所にては此主要原料の製造工程に最も重きを置き、普通市場に販賣するものを用ふる事無く、或る特殊の製造場と特約し、原料の買入より始めて其製造に至る工程の一々を、當所の技師を派して監督し、正確に分子細微均等にして完全と稱し得るものを製造せしめて是を使用しつゝあり。從つて美顔白粉は分子最も細微にして均等なるを得るなり。

2 鉛分及び有害金屬絶無
一般市場に於ける前記主要原料の普通品は前述の如く完全を期し難きものあるが上に、其製造原料に就ても不純品の存する事あるが爲め、白粉に於て衛生上最も忌むべき鉛分及び諸種有害金屬質を含有するに至る虞あり。然るに美顔白粉にありては、前述の如き特製品を使用するが故に斯の如き虞些かも無く、字義通り絶無鉛なるは勿論、其他一切の有害金屬を含有する事絶對に無し。

3 硫黄分を含有せず
尚また前記主要原料の市場に販賣せらるゝものは、是を漂白するに硫黄を以てするを常とす。從つて幾分の硫黄分を混有するを普通とせり。當所にては研究の結果白粉の中に硫黄分を含むの不可なるを認め、此點に就きて研究の上、硫黄を使用せずして漂白するの法を發見したるが故に、美顔白粉に使用する原料には殆ど硫黄分を含有する事無し。

4 其他の原料に對する注意
其他の諸原料即ちタルク、グリセリン等に就きても、原料の撰定に最も嚴密なる撿査、注意、研究を重ねて是れを使用す。タルクの如きも一定の分子の大きさを撿定し(タルクにありては分子の細微は可なりとはいへ、而も餘りに細微に過ぐるものは宜しからず)また特に滑石の粉碎の方法如何が亦白粉の品質に關係あるを認め特殊の撿定法に依りて是れを撿定す。

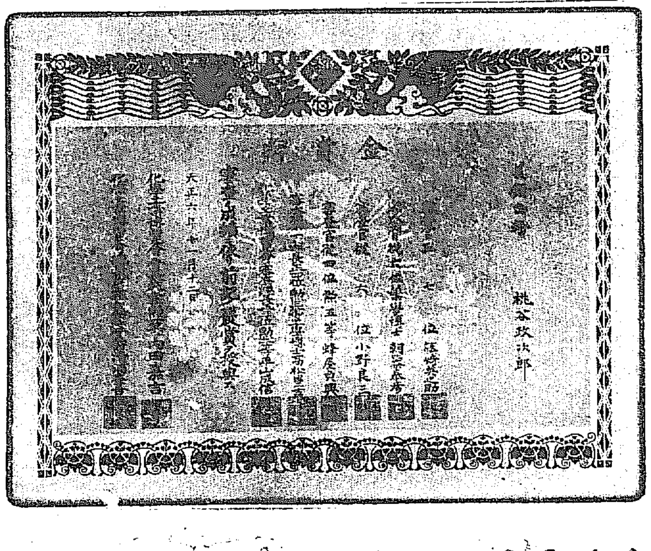
△二　美顔白粉の特長

以上は美顔白粉の製造原料に關して特異なる點を略説せるものなるが、是等特殊の原料に依りて製造せらるゝ美顔白粉の品質上の特異なる點を擧ぐれば次の如し。

1 被覆力の強大
2 延展性の強大
此二者は、前記原料以外當試驗所の研究に成る特殊成分を含有せしむるに由る。
3 純白なる色澤
4 長時間の色澤保持
5 衛生上絶對無害
前記原料の絶對無鉛及び諸有害金屬質の絶無なるに由る。

△三　美顔白粉の製造工程

先づ前述の如き嚴密撿定の諸原料を、更に水簸乾燥したる後、細末に篩過し一定の混合器中にて混攪し、更に水分を混加しつゝ攪拌し、次に煉合機に懸けて一定時間煉合し此煉合塊を煉合器中に移し、グリセリン其他の特殊原料を加へて一定稠度となしたる後、芳香料を加へて壜詰とす。



右　化學工業博覽會に於て、我が美顔白粉が學術的完全なる化粧品として特に名譽ある一等賞金牌を授與したる事は既に御承知の通りに有之候

第三　美顔化粧料現在の狀勢

1 工場從業員　技師、技手、事務員參拾人　男女工五百六拾人
2 製造額　昨大正六年度總額金　貳百拾六萬餘圓

京城日報

第五版

本紙定價　壹部金參錢　壹ヶ月七拾五錢　…
廣告料金　五號十五字詰一行一圓…
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　…　振替京城三〇〇番…

…府の為めに買占せられん…毛織物輸入業者の反…たる為め徴發は失敗に歸し同時に本邦毛織業者の羊毛買附は其…

▲外的悲觀材料　…じのみか最近に於ける毛織物特に六十片以上即ち昨年の名…毛斯綸の品質を劣等ならしめ…し三四片以上の高値にて生るべ…と關聯きみ豫想するに難からず殊に最近…為め益々釣上げらるべきや明かなん…

▲新羊毛の市價　…は之が…目下漸…七十八九錢…人氣の去ら…あり斯界は漸次樂觀に傾…

◎特許界の趨勢

特許局調査に依る本年上半期特許數は專賣特許三千六百七十四件…古めつつあるが歐米の狀況に比し…るの結果出願者相互に訴訟事件を…特許法に關する知識の缺乏は自か惹起する事あり殿に過ぐれば出願…ら出願の方法手續を誤り或は特許者の不平を招き反つて斯界の進歩…を與へ之が保護奬勵に努め特許の思想を高めんとする方針也と（東京）

朝鮮貿易趨勢（八）
矢鍋關税課長講演

關税上從來實行せられたる產業保護の施設事項の重なるもの茲に其効果に就き項を分ちて說述せんとす

一、輸出税撤廢　明治四十五年四月を以て實施せられたる朝鮮關税定率令と共に從來殆んど總ての輸出品に對し從價五分を課せられたる輸出税は小麥、大小豆、荏胡麻、生牛、牛皮、鐵鑛、石炭の八品を除く外全部之を撤廢せり而して之が効果として該税額が生產者の利得たりしや或は消費者の利得たりしやの問題は之を別として之が為め朝鮮產品の輸移出を助長せしことは上述輸移出貿易の大勢に徴し之を推知するに難からざる所なるべし

二、加工品原料免税制度　本免税制度は幼稚なる產業の保護奬勵の一施設として前記朝鮮關税定率令に依りて新に制定實施せられ加工又は製造の為め輸入し一箇年內に加工又は製造品として輸出する物品に對し關税を免除するの制度にして大正二年十月物品を指定せられ爾來大正四年二月並に同六年十月にて之が追加を見而して現在の免税物品は（一）刺繍其他レース等製作用の絲綿布帛類（二）精練漂白又は染色用同上物品（三）鞣又は染色の為め輸入する毛皮及び獸皮（四）皮革製品の原料たる皮革金屬製品類（五）織紐を製造する為め輸移入する綿織絲（六）紙製帽子製造用紙製帽胎材料（七）煙草製造用の葉煙草並に用紙類（八）魚貝類罐詰製造用罐及び葉鐵（九）洋服を製造する為め輸移入する表地及び裏地用織物（十）柞蠶絲製造用柞蠶繭（十一）大豆及び油粕を製造する為め輸移入する大豆の數種にして右實施以來之が特典に浴したる貨物左表の如し

▲加工製造原料品輸移入額（圓）

	大正七年自一月至五月	同六年	同五年
皮革製品原料	—	三六、三六六	三一六、七四四
布帛製品原料	一四、三三一	七、九九九	五一、八八一
綿絲原料	三七、八八六	—	—
帽子原料	一六八	一、八六	—
煙草原料	一三七、四四一	一三七、六六九	—
罐詰原料	四四、一三八	三、四四〇	—
合計	二三六、八四〇	三六六、八四三	三一三、九五三

▲加工製造品輸移出額（圓）

	大正七年自一月至五月	同六年	同五年
皮革製品	—	一三九、七七一	三、四八六、八六六
布帛製品	九八、八四五	一六三、三四四	九、一三六
紙巻煙草	一八五、三四四	二〇、八四五	—
罐詰其他	四二、〇〇二	—	—
合計	三三六、三二三	一三四、八七七	三〇七、九四四

右の如く制度實施以來輸入原料品並に輸出製品共大體に於て累[illegible]し著るしき增進を示せるが獨り皮革製品並に其原料の出入が大正六年以降著るしく減退せしは畢竟一時需要の地位を占めし露國向皮革品の輸出杜絶に基因せるものにして本免税制度の効果として當該事業の享くる利益は蓋し尠少ならず

三、漁業、鑛業、農業用品其の他の免税制度　（一）漁業者が自己の漁業の使用に供する為め輸入する漁船及び漁具（二）金、銀、銅、鐵、鑛の採掘採取又は製錬の事業に關しては本年三月改正次項に詳述必要なる器具、機械、爆發藥其他化學藥等（三）栽植、接木又は播種用の植物種子等（其他農具は從來より無税なり）（四）輸出貨物の容器に供する為め輸入する物品等の免税制度にして前記（一）より（三）迄は從來より免税せられたるものを朝鮮關税定率令に依り更に改定を見たるものにして孰れも朝鮮產業保護奬勵の趣旨に外ならず

英國戰後政策

一昨年七月を以て任命せられたる英國戰後商工政策委員は此程報告書を發表せしが其の建議中の主要なる點を摘記せば左の如し

△生產並に原料　（一）戰後努めて多額の生產を擧ける為め雇主並に勞働者は十二分に努力するを要す（二）敵國を原產地とする貨物の輸入は特別の場合に許可を與ふる外戰後少くとも一箇月間引續き禁止するを要す（三）聯合國は經濟復舊に要する重要なる物資を協同的に管理するを要す（四）英國政府は軍事上必要なる物資の生產地に於ける外人の企業を取締るを要す或る場合に於ては採礦權は英國民にのみ許可することゝ為すべし（五）特殊工業局を設置し以て特殊の物資（例へば眼鏡用硝子藥品の如きもの）を生產する工業を奬勵し必要ある場合之に財的援助を與ふべし又時宜に依り政府自ら這の種の工業を經營すべし

△外人侵入保護　（一）二三の職業（例へば水先案內業、特許代理業の如き）を除くの外英國に於ける商工業に外人の參加することに制限を付す可からず外人は商の方面が商の氏名登錄其財產登錄並に現敵國臣民に對する嚴重なる警察的取締に依り之を防止することを得べし（二）外國の銀行が英國に代理店又は支店を設立せんとし又は在來の代理店又は支店をして營業を繼續せしめんとするを阻害するは得策にあらずされど年々之に認可を與へ政府にして其等代理店又は支店が政略上の目的に供用せらるゝことを認むる場合認可を撤回又は取消を要す

△事業合同協力　（一）政府は製造家を勸誘して夫々合同を為さしめ以て原料取得に便宜あらしむ可し製造家側に在りては互ひに協力して生產の劃一を圖り科學的工業的研究を為すを要す海外貿易上當業者が合同するは政府並に公衆の敵視する所となるやも知れざれど斯かる態度は之を改めざる可からず（二）雇主の合同は大體上…

歐洲より歸りて（三）
於實業家修養講話會　河野醫官講演

…勞働者に有利なれども其範圍並に行動に關し注意を怠る可からず

瑞西　瑞西は強國の間に介在する人口三百餘萬に過ぎぬ共和國で而も山國であつて天產物に乏しく自國に產する天產物のみを以てしては僅かに半歳を支ふるに過ぎない位だといふ事であつて從つて從來其の不足の物資は總て外國の輸入に仰いで居たが戰亂勃發と同時に其の輸入杜絶し若しくは減少した為めに非常なる困難に遭遇しつゝあるは同情に値する。交戰國の困難するのは、言は、自ら招いた運命であるから致方が無いとしても瑞典にせよ諾威にせよ、丁抹にせよ瑞西にせよ中立國であつて尚且つ非常なる艱難に遭遇し居る有樣は實に悲慘を極めて居る尤も瑞西邊では戰亂勃發以來は亞米利加から其不足の食糧品—主として麥粉の輸入を仰いで居たが、亞米利加から來る汽船が時々獨逸潛航艇の為めに擊沈されるので輸入は思ふ通りに行かない。瑞西目下の狀況は困難なる問題であるが却々急に根本的の解決がつきさうでも無い。第二に困難して居るのは石炭である、石炭の缺乏も酷いものである。只今では獨逸及び佛蘭西方面から每月十七萬噸內外許り輸入して居るけれども、到底需要に足りない。食料品では麥粉の外、砂糖、玉蜀黍の粉、バタ、料理に使用する脂類等が不足で一般頗る困難の有樣である。元來ならば是等食糧品は瑞西の關係上其の價格は暴騰すべきであるけれども、政府は種々に手を盡して居るから、又一方國民一般には食糧品の切符を渡して需要者側にも夫々の制限を設けて居るのであるから、瑞西では如何に金が澤山あつても、思ふ儘には成らない。規定以上の食品を買込む事は、出來ないのである。金さへ出せばといふ譯には參らぬ、日本では成金などといふ者が續出して贅澤な事を為す者もあると聞くが、瑞西邊では何人も金の威力で何でも出來るといふ譯には行かぬ。食糧品の需求は一切政府の統制で、價格に對する制度に就ては社會の內部に不平が潜んで居るかも知れないが、戰爭の為めなければ到底立ち行かぬ實狀に在るのだから、同情に値する。パンの分量大人一日百二十五グラムに限定されてあります。而も其のパン粉は米粉が二十プロセント、玉蜀黍が二十五プロセントの割合に混ぜてあるから美味からう筈が無い。今日瑞西では我々が今日食ふ樣な白い美味しいパンは迚も口にし得ないのである。又瑞西のバタは美味な點に於て從來有名なものであつたが、之にも需要の制限を加へ一人一箇月の用量僅に百グラムとなつて了つた。百グラムでは一箇月は愚か漸く一週間も持たんのである。之を一週間で食ふて了へば後の二十三日と云ふものは、バタ無しで居らねばならんのである。

書道の話（二）
今關天彭氏談

三　楷書

楷書は正書とも又は眞書とも云つて居ります。後漢の章帝の時に王次仲といふ人が篆書と隷書とを參酌して楷隷と云ふ字體を作り、その後變化して今の楷書となつたのでありますが、其の始め王次仲が楷隷を作つた處、書くのに極めて便利であるから、自然世間に廣く行はれ、漢の終りになると、既にもう楷書が石刻の中に彌々見當るやうになりました。魏の鍾繇や晋の王羲之などが今の楷書を完成した人であります。

四　草書

草書は後漢の蔡邕の說に據ると、秦の時には戰爭が屢次あつて文字の使用が繁かつたので、字劃の多い小篆では急の間に合はぬ處から小篆を簡略にして篆隷を作つたが、これでもまだ急速の間に合はぬといふので、篆隷より更に草書を作つた。草とは草率の草、又草稿の草であるとの事であります。かゝる次第であるから前漢の武帝から三代目の元帝の時になると史游といふ人が出て急就章といふのを作つた。これが章草といふ文字の濫觴である。章草に就いては後漢の章帝の時に杜度といふ草書きの名人が出て、章帝がその草書を好んだところから名を得たのであるといふ說もあるけれども、當否何れかは分りませぬ。兎に角章草は一字々々引離して書いてあるのを見ると、隷書を早く書いたものだといふことが直ちに首肯される。そこで斯やうに引離して書いてあるから章草を別に獨草とも云つて居る。杜度の後に張芝といふ人が出で、草書を續け樣に書いて居りました。そこでこれを連綿草と云つて居ります。王羲之はこの章草を一變させて、今の草書體を確立したのであります。

五　行書

この書體は後漢末の靈帝の時に當つて劉德昇といふ人が出て、正書即ち楷隷の變化したものと草書との間をとつて書き出した字體であつて、一に行押書と謂つて居ります。この書體も亦晋の王羲之、王獻之の二人に至つて完成したのであります。

六　八分

八分に就いては古來色々な說がありまして判然と分かり兼て居りますが、普通に行はれて居る說は、後漢の蔡邕が隷書の八分を取除けて二分を採り、小篆の二分を除けて八分を採つてこの字體を作つたので、斯く名をつけたといふのであります。又宋の徽宗皇帝の宣和書譜に據ると、兩漢から唐に至るまでの金石類には、篆書や隷書や行書の書體で書いてあつて、八分といふ書體は何處にも見當らぬ。併し唐に至つて始めて八分が盛んになつて來た。其の書體は怎うかといふと、隷書に似て波勢を付けて居る。要するに八分とは、時代の變化に伴なふ書名の變化であつて、今の楷書を昔は隷書と謂つたやうに、今の隷書を昔は八分と謂つたのであると論じて居ります。現代に於て有名な康有爲の說は、前說と後說とを打つて一丸として、秦篆は石鼓の書體を變じて其八分を採り、前漢の人は秦篆を變化させて其八分を採り、後漢の人はまた前漢を變じてその八分を採つたから、そこで斯かる名が出て來たので、結局八分とは度合を指して云ふ言葉であると謂つて居ります。兎に角八分の書體は怎ういふものかと云ふと、隷書へハネを著けたものを以て、今日普通に八分と稱んで居るのであります。

並行線（三十九）
瀧閑村

待ためは飛ぶやうに近付いて來る。

靜子は高山との婚儀を取定められてから、悲しみの中に一日二日を過ごしたが、それと心を定りてしまふと、生れ代つたやうに冷やかになつた。身を投出して運命の波に任せやうとするのには、礎石の必要も、救命具の必要も無い。靜子の短い一生は既に終つたのである。是からの生涯はモウ自分の為めの生涯では無い、父母の為めの生涯である、生きても嬉しくないが死んでも少しも惜しいことは思はぬ。父は忙しいので大體の事を母に任せて置いたが、婚儀の話に流石に家は色めいて來た。呉服屋、小間物屋などの出入が頻繁になつて來た。

七八反の反物を持つて番頭が來た。

『ねえ、是は式着だけれども、これかいと思ふね、新らしく染めさせたいが、モウそんな間が無いから此中で定めて置きたいから、お前任せても見立て、おくれな』

『これでもようございますわ、何でもよく判りませんから』

靜子はそこへ並べた反物の美しい色々に一瞥を與へたばかりだ。

『そんな事を言はないでさア手に取つて御覽な』

『さうねえ、これが質素でい、やうです、是にして下さいな』

抽出した一反を母は見て、

『でも是はあんまり質素過ぎやしないかね』

『是がい、の、是にきめて下さいな』

と質素なのを取つて動かなかつた。

祝ひの品が來る、親戚や友達から祝ひの手紙が來る、床の間は美しい色に掩はれた。が、靜子は平素の通り振舞つてゐた。六月十五日が吉日であつて、式は其日の夕方に新たに借りた高山の座敷で擧げられた。

明るい電燈の下に映し出された靜子の姿は物凄いやうに蒼白かつた。盃の時にも正視して眉一つ動かさなかつた。それに比して嬉しさを蔽ふことの出來ぬ高山はソワソワして甚だ見苦しかつた。目出度い々々と祝ふ人々の聲を靜子は人事のやうに聞いてゐた。式が終ると二人は南大門驛から汽車に乘つた、丁度會社の用で東京へ行くべき事があるので、新婚旅行を兼ねてと、社長の計らひだつた。

窓の外には見送りの人々が多かつた。祝ひの酒にこゝの一團は持て囃して、笑ひ聲が絶えず起つた。

何くれと世話を燒いてゐた母親は、心配さうに

『お前ほんとに氣を付けてね』

と云つて車中を見廻した、車中の視線が靜子の一身に聚つてゐるのを知ると、流石に嬉しくもあつた。女王——さう、丁度玉座にある女王の如く嬋然として靜子はあつた。處女の終りと云ふ悲しみをしみじみ心に味はひ乍ら——

法人登記公告
一、淮陽地方金融組合　理事變更登記　…
大正七年七月十七日
京城地方法院淮陽出張所

最新刊
名所旅行案內　定價一圓二十錢
…
島崎藤村著　海へ　定價一圓三十錢
…トルストイ全傳　…
小杉未醒著　二人傘　…
エマアソン社交論　高橋五郎　一、〇〇
總督府編　鮮語階梯　…

京城本町　大阪屋號　振替京城…

軍隊拂下被服
紺絨外套　一枚　一圓六十錢以上
茶褐夏服　一枚　…
紺絨軍服　一枚　…
其他拂下品各種
京城北米倉町　村上商店
右御不用品何品ニテモ高價買入御報參上

大日本養鷄普及會編纂
本邦創始　養鷄講義錄
◎農商務省奬勵
附　鶉・雉子・七面鳥・鶩・鴨・飼養法
一婦の力
三ケ月卒業　會費貳圓五拾錢
…
東京市日比谷有樂町一丁目　大日本養鷄普及會

新家庭　八月號
水島爾保布の瀨戸內海繪卷
若き男の要求する理想の妻
▲川端龍子の朝顏石版十二色刷
▲伊東深水の現代貴婦人似顏繪　オフセット十色刷
▲安田稔の油繪涼風　三色寫眞版
▲貴夫人令嬢の寫眞合計廿六枚
▲新築落成せる大阪樟蔭女學校
▲米國で最新流行の子供の夏服
▲英國政府より特贈の戰時寫眞
▲西伯利出兵の本當の意義…永井柳太郎
▲婦人も政治に口出しせよ…匿名某女史
▲健康第一を旨としたい…安部磯雄
△瀨戸內海紀行別府から…佐竹草迷宮
△甲州の名勝日野春と增富…白井桔梗
▲輕井澤の霧…あかしや
△飛行機の話…赤阪新五
△夏の御化粧は斯樣なさい…月見草
△婦人に最も必要な美容體操…三島ゑい子
△何時までも容色の衰へぬ法…奧村たつ子
△趣味と實益の鷄の飼ひ方…しゆんすゐ
▲男と女の頭の物と足の物…平山蘆江
▲一豐の妻　歷史小說…渡邊霞亭
▲巡禮歌　長篇小說…北島春石
▲彼處と此處　戰時小說…東健而
▲おさよ小町　讀切小說…平井晩村
本誌獨特の貴婦人評判記と全國女學校通信
一部卅五錢
東京芝區芝公園　文文社

增補　西洋通史
文學博士　瀨川秀雄先生著　全三卷
注文殺到
出兵目睫に迫り　世界歷史の討究愈々緊切也
人類經驗の總記錄を最も巧に縮圖せしは本書也。世界進步の徑路を闡明して、現代百般の事業に指導を與ふるは本書也。世界大戰の歸結、戰後の趨勢に對して、的確なる推斷の基礎を供するは本書也。本書の特質が時局の高潮に乘じて、殺到的注文の盛況を呈するは偶然に非らず。今や提供部數刻々に減少しつゝあり。申込みは寸時も速かなるを尊ぶ。
◆短期特價提供◆
一時拂　五圓五拾錢
月賦拂　金六圓
內容見本進呈
東京　富山房

歐米雜貨直輸入卸商
合名會社　大崎組商會雜貨部
大阪市東區安土町四丁目
振替口座大阪二一九〇　東京九三三九

◇出兵と意嚮質問

支那政府は二千の兵を西伯利に派遣するに決し二十二日各在外公使に對し各國の意嚮を問ひ合はす可く訓電せり右回答著次第直に出兵實行す可く一時賛否相半せる新聞の論調も殆んど出兵論に傾けり（北京特電）

◇米實業團派遣と日本

米國實業團の露國派遣に倣ひ英佛にても同じく經濟團を送らんとするの意あり我國にても之等の點に就き考慮中にて現に實業家中派遣希望者無きに非ず（東京特電）

◇獨墺俘虜軍增加

一萬二千の獨墺俘虜を主力とせる過激派軍は國境に固守せるセミヨノフ軍に壓迫し來り滿洲里は目下危殆に瀕せり昨今セミヨノフ軍前面の敵優勢となれるは大に注意す可く日本の勇兵の戰死する者相踵いで出でつゝあるは同方面の獨墺俘虜軍の增加せるに由るもの如し（奉天特電）

◇米國革類引下

戰時工業局は今回革類の價格を一割方引下げ八月一日より實施す可し（華盛頓電報）

◇米陸海軍死傷數

歐洲戰場に出征せる米國陸軍現在死傷者數は合計一萬八百三十一名同海軍死傷者數は千八百八十名なる旨發表されたり（華盛頓電報）

◇宮殿下進級

二十四日四宮殿下に對し左記の通り進級御令ありたり（東京特電）

陸軍騎兵中佐大勳位功五級　任騎兵大佐　恒久王

陸軍步兵大尉勳一等　任步兵少佐　鳩彦王

補第二聯隊大隊長陸軍步兵大尉勳一等　任步兵少佐　稔彦王

補第七聯隊大隊長陸軍砲兵大尉勳一等　任砲兵少佐　成久王

◇宇都宮中將大將說

宇都宮中將の朝鮮軍司令官任命は大將に陞進の前提なりと噂さる（東京特電）

◇高山少將陞進

二十四日左記の通り御令ありたり（東京特電）

關東都督府陸軍參謀長陸軍少將　高山公通

任陸軍中將

補滿洲獨立守備軍司令官

◇京大法學長

京都帝國大學法科大學々長は就職願により雉本朗造博士の就任を見る可しと（京都電報）

大阪より

▲列國汽船と支那　最近上海稅關の發表に依れば本年一月以降三月迄の一期間各國汽船の入港數は一萬六千三百隻噸數二百四十六萬噸なり其中隻噸數の最も多きは日本船の六百廿一隻九十九萬五千噸を以て第一位を占め從來第一位に在りし英國船は戰後著るしく減少し四百四十二隻九十九萬噸を以て第二位に下り之に次ぐは支那の三百卅七隻四十六萬三千噸なるが獨逸船は全く跡を絕ち米國船も九十六隻十二萬七千噸に減少し其他和蘭の如きは三十五隻五萬噸となり露國丁抹は僅に二萬二三千噸佛國の如き四隻一萬四千噸にて大減少となり戰時に於る日本の大發展と共に各交戰國其他皆衰退を示し居れりと

▲海外練習生募集　農商務省海外練習生の制度は實際貿易に從事し又は營業上技術の修練を爲さんとするものを養成の目的なり特に時局以來我對外貿易の發展と將來に對する商權確保の爲め此種適材の養成は益々切要なるに鑑み同省は其要求に應ずべき施設として本制度の目的を一層有効ならしむべき方針を以て來る九月上旬本省に於て採用を擧行する筈なり特に今回は海外練習生の候補を增進し貿易界技術界に發展を希望する者に執りては極めて良好の機會なるべしと

▲支那幣制問題　大藏省の發表に依れば支那幣制改革の問題は支那に於て二十年來熱心に講究されつゝある問題なるが日本政府に於ても日支經濟提携の將來に鑑み支那の紊亂せる幣政の改革を援助するを最緊要となし第二審の借款に於ても其成立を各國に提議し米國の復歸を勸奬し幣制借款成立の爲め盡力する所ありたるが倫敦に逓べし如く未だ其成立を見ざるも大體に於て借款令須草と[illegible]て之を[illegible]本邦市場の狀[illegible]革に對し實權あ[illegible]解を得たる狀況にして要する[illegible]懈怠せしむる事等には略[illegible]邦が本問題に關して他國と同一歩調を執るに止まらず更に率先して他國に諮り其解決に付重要の位置に立つに至れる點は注目に値すべき事なりとす今後支那幣制改革の方法に關しては兩國識者間に於て誠意を以て講究せられつゝあるを以て此大事業の端緒が遠からずして開かるべきものと思惟せらると

◎獨軍攻勢挫折　[illegible]の報道に依れば[illegible]獨軍の攻勢[illegible]唯同方面に於ける聯合軍の兵力[illegible]し其面目にかけ[illegible]突破を企圖[illegible]ば獨軍は漸次該方面の戰線を撤退し出づ可く[illegible]なる狀態に在り聯合軍は米軍の增加に依りて漸次[illegible]

▲英佛軍極力　之が防禦[illegible]

◆兒島朝鮮憲兵隊司令官經歷　既電の如く陸軍少將兒島惣次郎氏は二十四日中將に陞進同時に古海中將の後を襲ひて朝鮮憲兵隊司令官に補せられたるが同中將の經歷左の如し

岡山縣平民長野六三郎氏の三男にして明治二年十月を以て生る先代物組氏の養子となり家督を相續す同二十一年十一月士官學校に入り二十四年三月少尉に任じ二十五年更に陸軍大學校に入り三十一年同大學を卒業し爾來累進して大正三年八月陸軍少將に陞進す其間第八旅團副官、元帥副官、獨逸國駐在、陸軍大學教官、陸軍省軍務局、參謀本部課長、近衛步兵第三聯隊長等に歷補し後參謀本部第四部長たりしが今回陸軍中將に陞進し同時に朝鮮憲兵隊司令官に補せらる家庭には夫人浦子長男義德、二男武德長女德子あり

▲肥料界區々　豆粕相場は地方への賣行不良と云ふにあらざれども定期相場は漸落歩調にて昨今の相場七月物四圓二十錢八月物四圓六十錢搦みの相場なれど荷行遲に流安は氣丈の成行にあり東京にては六月積荷二百七十圓にて小口成立し流安も亦十、十一、十二月物三百六十圓にて調談ありたり爲めに當地の相場は流安下半期打通し三百五十六七圓見當商ひ六月積二百六十圓買を唱へ居れり

◎東清鐵道開通　東清鐵道線ポグラニーチナヤ、グロデコウフ間は不通となり各列車共運轉中止中の所廿三日復活せり

◎鮮鐵新方針　久保理事向連

鮮鐵の滿鐵委託經營の改訂調印二十三日終了せしを以て右に關し今後鮮鐵經營上の新方針その他協議すべき事推積せるため久保滿鐵理事は一兩日中大連に赴き諸種の協議をなす由なり

◎露貨換算率變更　日滿貨物聯絡運輸に適用すべき露貨換算率は百圓に付五百九十留なりしも廿一日より五百六十留に變更せり

◎元山大豆の優良　歐洲需要地に於ける元山大豆の相場を見るに本年上半期間に於て內地各地に移入せられたる鮮產大豆の相場を比較するに其の種類産地別に依り相違ありと雖も所詮元山大豆は何れの需要地に於ても內外（石に付）の格[illegible]に同地方產大豆が他[illegible]常に品質の優良なる[illegible]ものなり

◎京畿夏季講習會

京畿道にては今夏季休業を利用し左記の如く八月一日より向十三日迄夏季講習會を開催す可し

▲普通學校長講習會　講習科目、鮮語、博物　▲會場、京城高等普通學校　▲講師、高等普通學校教諭柳在朝、李完應、崔爲三

▲私立教員講習會　講習科目、教育、國語、算術　▲會場、[illegible]普通學校　▲講師、女子高等普通學校教諭三宅高義、[illegible]

◇陸軍要部異動（續）

二十四日左記の通り御令ありたり（東京特電）

陸軍少將　渡邊岩之助

任陸軍中將補由良要塞司令官

同少將　河村正彥

任同中將補陸軍步兵學校長

同少將　田中弘太郎

任同中將、陸軍技術審査部員被仰付

同少將　近野鳩三

同　與倉喜平

同　福原鐵太郎

同　齋藤季治郎

同　金久保萬吉

同　新免行太郎

同　松井庫之助

同　田村沖之甫

同　大村信行

同　鈴木莊六

同　渡邊滿太郎

同　奈良武次

同　岡澤慶三郎

任陸軍中將（各通）

陸軍步兵學校長陸軍中將　西川虎次郎

免本職補第十三師團長

第十七師團長陸軍中將　星野金吾

第十三師團長陸軍中將　安藤嚴水

由良要塞司令官陸軍中將　鑄方德藏

軍馬補充本部長陸軍中將　吉田平太郎

獨立守備隊司令官陸軍中將　福原鐵太郎

免本職待命被仰付（各通）

陸軍中將　新免行太郎

同中將　大村信行

同中將　岡澤慶三郎

待命被仰付

主計監　田中政明

任主計總監

◎滿鮮鐵道の經營

―實質上の統一―

◇◇◇契約の改訂と滿鐵の今後◇◇◇

＝久保京管局長談＝

朝鮮鐵道の滿鐵委託契約改訂の內容は夕刊所報の如きが右に付久保滿鐵理事は曰く昨年來朝鮮國有鐵道の經營を滿鐵で引受けたに就ては政府の鮮鐵經營を

▲滿鐵に委託　されし趣旨を考へその意向を正しく了解して働くには朝鮮線を滿鐵線と同體とする事が必要である予は過去に於ける鮮鐵經營の經驗より去る二月頃から大體に於て實質上の滿鮮兩線統一を必要と信じ本社の意向を纏め之れを總督府に上申して其の同意を得種々の手續きを經て今回改訂契約の調印を見るに至つた譯である、何故滿鮮兩鐵道を實質上一體のものとしたいかと云ふに從來の契約のやうに朝鮮線の會計が滿鐵本社の會計と別になつてゐると例へば貨車を兩線交互に出入さしても使用料等の計算問題が起り

▲鮮滿直通的　の施設をするにせよ朝鮮線は朝鮮線用として漸次車輛を購入するにしても、そこに不利不便を來す又朝鮮線と滿鐵線と考へねばならぬと云ふやうな結局滿鮮線で實行する事も考へねばならぬ何か施設の不一致を來す事があるかも知れぬ、唯今日までの所何等さうした事實はないけれども將來は起り得るやうに思はる、又鮮鐵社員の給與にしても朝鮮線從事員を本社と別個に扱ふのは若干の遺憾がある之れを同一のものとし愉快に事務を執つて行かしたい、然し左樣にするには昨年締結した鮮鐵委託契約を改訂せねばならぬ、そこで改訂の議が起り第一に經營報償の問題を如何にするかと云ふ事になつた、總督府は鮮鐵委託經營の收入を豫算に計上してゐられる、それは總督府が鮮鐵の建設改良を主として公債支辨によつてゐられる以上その

▲巨費を要し　又所有鐵道の收入も必要なわけである、乃で滿鐵の朝鮮線委託經營の報償を總督府でも色々調査をした結果從來總督府の支出された鮮鐵建設改良費は一億四五千萬圓の巨額に上つてゐるけれどもそれを大正六年度末に於て特に五千百萬圓と定めその年六分を滿鐵より納付する事となつた、然しその五千百萬圓は前年度末であつて今後支出される鮮鐵の建設改良費はズンズン加へられて行くから大正七年は五千七百萬圓に增加し八年には六千數百萬圓となり咸鏡線の建設が大正十三年頃に終はるまでには一億何千萬圓の巨額に上る譯である、思ふに既設線が經營から年六分を納付する事は容易であるが新線から

▲建設費の六分　を支出するのは採算が六ケしいかも知れぬ、然しそこは彼此埋合せて行けるであらう、然し乍ら鮮鐵現在の經營狀態から云へば五千百萬圓に對する年六分の報償は安すきに失すると云ふ論も生まれてゐたけれど滿鐵では右の報償の外補充事…詳しく云へば既に資金を投じて營造された建築物や線路その他の修理や增築、ホテルの增築とか停車場の改築とか云ふものは必要に應じて之れを會社でやりその財產は總督府のものとして唯その額は會社の自由で決定してなければ目先き京義線各驛の改築の必要の如きも遁つてゐるから相當の額に上るであらう、結局投資額年六分の上納並に補充工事による投資を朝鮮線經營の報償として總督府に差上げる事となつた譯である、又此の取り極めは大正七年度から實施し去る四月一日に遡つて有効となり向ふ三箇年乃ち九年度迄繼續し十年度よりは又

▲新に改訂　する事に決定してゐる、それは今日が戰時狀態であつて數年後の交通產業の狀態の變移の見通しがつかぬから今日に於ては暫定的のつく期間の取り極めをやつた譯である要するに今回の改訂は從來に比し一步を進めたと云へやう滿鐵として從來のやうならば唯經營を委託されてゐると云ふだけであつて實質上の利益はあつても損失は來さない事となつてゐた、然し今後は經營權を事實一任された結果收支の如何に拘らず定額の報償を

▲總督府に納付　せねばならぬ譯で場合によつては本社より補充工事もやつて行かねばならず朝鮮線に對する補給を必要とするかも知れぬが予としては左樣の事をせずとも社員の一致協力により鮮鐵の運輸狀態を一層改良し交通の便利を增し各種の施設を行ひ政府の滿鮮鐵道統一の大方針に遵つて行きたいと考へてゐる

◎國分次官引籠　李王職次官國分象太郎氏は此の一兩日來病氣引籠り中なるが診斷の結果によれば盲腸炎の前兆ありと

◎釜山教育講演會　釜山學校組合主催の夏季講習會は二十二日より釜山第五公立尋常小學校講堂に於て五日間開催す講師は東京高等師範學校教授佐々木祐太郎氏にして會員は釜山各學校職員及び有志約百三十名なり佐々木教授は二十二日朝入港關釜連絡船にて來釜直に會場に赴き午前十時開會、若松府尹の式辭あり佐々木講師は『世界の大勢に合致せる教育』と題し其緒論に入り日を逐ひて十項目に就き說述する豫定なり

◎芙江の土用三郎　天候清明、南部の微風、稻發育良好に候（二十三日午後五時虎耳報）

◎題藤井大星率雲山房圖　今關　天彭

山雲罩染白綸巾。大好頭銜是逸民。一笑呼君君不至。夢中驀見畫中人。

人事消息

▲李圭完氏（江原道長官）二十四日出京

▲佐藤隆氏（內國通運元山支店長）二十四日退京

▲西村又三郎氏（同群山出張所支配人）同上

▲吉宗貞五郎氏（同釜山支店長）同上

▲伊丹見治平氏（同鎮南浦支店長）同上

▲倉原伯堆氏（同新義州支店長）同上

▲松川彦氏（同平壤支店長）同上

株式名義書換停止公告

八月一日ヨリ第一回定時株主總會終結ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス

大正七年七月廿五日

朝鮮紡織株式會社

◎双眼鏡◎

◎十五形六枚玉十二圓

◎十三形六枚玉十一圓

送料鮮內十二錢　外三十錢

右僅少に付至急御下命願上候

京城太平通電話構內一八番

京城日報社代理部

振替京城三〇〇番

自動車

東京自動車學校

東京府下京橋區　大阪市西區市岡町

本校卒業生は校外生と雖も短期に運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生募集規則送與　有大阪講習所

大日迎口（歡）

黃金町長橋町入口　電話二九一六番

田村質店

商品擔保便利取扱

土用うなぎ

例年の通特別勉強仕候多少共電話にて御用命の程奉願上候

京城本町二丁目

東京天ぷら御料理仕出

松金

電話六八六番

第二十二期決算公告

貸借對照表（大正七年上半期）

資產

拂込未濟資本金	四五〇、〇〇〇・〇〇〇
諸貸出金	三、六五八、五五二・七八八
割引手形	一、〇三四、四八三・六二五
諸預ヶ金	四九、一九四・五七七
他店へ貸	三二、一一九・七〇〇
未達勘定	三四、一三九・九〇〇
公債及株券	四七〇、九八一・六〇〇
地所、建物及什器	四二四、三〇五・二六〇
流込物件	七三、三三三・五〇〇
金銀	二一五、二七一・一一〇
計	六、四四二、七七八・八六一

負債

政府貸下金	四六二、五〇〇・六〇〇
農工債券發行高	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
當籤農工債券償還金	八三〇・〇〇〇
支拂未濟農工債券利子	[illegible]
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	一四〇、〇三六・八五〇
配當金（未拂）	一四、七〇〇・〇〇〇
諸預金	一、八六九、七八八・五七五
支拂送金爲替手形	二九、七七七・五〇〇
諸借入金	六三三、七九三・四三〇
他店ヨリ借	一四五、五九三・六三〇
朝鮮銀行代理店	五〇、〇〇〇・七〇六
假受金	一、八四〇・四六〇
當期利益金	二八、一九八・七〇六
計	六、四四二、七七八・八六一

利益金勘定

金二萬八千百九十八圓七十錢六厘　當期利益金

之レヲ處分スルコト左ノ如シ

金三千五百圓　法定準備金

金一萬七千七百十四圓十五錢八厘　配當金（年七分六厘三毛四糸　政府持株ヲ除ク）

金八百圓　重役賞與金

金六千百八十八圓五十四錢八厘　後期繰越金

右ノ通リ候也

大正七年七月

京城府南大門通二丁目百四十番地ノ一

株式會社　漢湖農工銀行

看護婦募集廣告

志願者は履歷書に身體檢査證を添へ至急申出べし詳細は當方へ承合すべし

大連　滿鐵大連醫院

奉天　南滿醫學堂附屬醫院

鹽干魚　海產物　果實類　買賣委託販賣

奉天小東門外魚市行

信和魚果棧

朝鮮書畫家列傳

朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎閣下題辭

貴族院議員德富猪一郎閣下序文

元京城學校組合會議員　朝鮮總督府　吉田英三郎著

定價九十錢

發行所　京城太平通一丁目（振替京城三〇〇番）京城日報社代理部

木材防腐防蟲劑

專賣特許　クームヒン

塵芥箱下水板家畜小屋等に塗布する時は木質の保存のみならず蠅及蚊其他の昆蟲を撲滅し其來襲を絕無ならしめ消毒殺菌の効最も甚大なり

市內到る所の藥店にあり

定價　一罐入六十錢　八罐入二圓　送料實費申受ク

京城旭町一丁目電話一〇七八　振替三九六

龍山元町一丁目電話四二四番

山田商店

瓦斯管

合資會社　南方商店

京城南大門通二丁目

朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城

支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、營口、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

出張所

右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

振替貯金口座　京城三三三番　電話　六〇一〇番

胃腸病とタラコン

普通胃腸の藥は唯だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛んだ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります苟くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種峻烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも驚く卓效があります

散藥五十錢一圓二圓煎藥一圓一圓九十錢送料八錢海外廾錢

東京小石川下富坂町廾　本舖　無量壽藥園　電話小石川二九五六　振替東京二〇〇二

耐火煉瓦

▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）

▲シャモット煉瓦（三十番より三十四番）

▲ダイナス煉瓦　▲マグネシヤ煉瓦

▲耐火モルター其他耐火物各種

平壤府橋口町（電話壹貳五番）

合資會社　京谷商店

◎河內艦の損所　[illegible]

◎朝鮮名物◎

金剛山

京城本町電話二十七　四七五番

龜屋

釜山著名商店案內

雜貨問屋

洋酒　罐詰　糖粉

月刊發行

釜山　あづまや商店　電話三五九番　振替京城三九番

乾物　糖粉　煙草　雜貨　卸問屋

釜山　山西商店

酒精、燒酎（瓶詰入）　西貢米　碎米　大豆　砂糖　麥粉　雜貨食料品

釜山埋立新町

福榮商會

電話長一〇八番

荊妻リキ儀病氣ノ處養生相叶ハズ七月二十四日午後五時十分死去致候間此段生前辱知諸賢ニ謹告仕候

追而葬儀ハ廿五日午後五時自宅出棺明治町天主教會堂ニ於テ執行仕候也

大正七年七月廿四日

京城本町三丁目

山口大助

親族一同

友人一同

…サブアリー、メーゾン…シャンに獨軍の企圖は拒方を以て…大部隊は巴里東北方の諸地點を…ヌテユー間に第五次の攻撃を開始しオーヌ方面英佛軍の接合地點を…一方獨軍の進出を擁抑して充分な…したること既報の如くなるが其後…破せんとする當初の目的を抛棄せる防備を施し居れるを以て獨軍若…の失敗は佛軍の前進を誘致し其大なる…部隊を以てソアソン及びシヤトー・チエリー方面の進擊を見るに至らず聯合軍の兵力は今や積極的行動…の如き事あれば之れ有らずあのみならず…目的を達成せ…されば今後尚は猛烈なる攻擊を…ずんば已まざることは勿論なるが聯…續するは勿論なるべきも…獨軍の前途は…るのみならず獨軍…覗すべき運命に陷るべし

○金川判事夫人の逝去　金川判事…居れり（釜山電報）

○聯合京城淨瑠璃會　…明治町…にて執行…座にて

○大更迭の報を　齎して朝鮮軍主腦　各官邸を訪ふ

▽元氣は若い將校に劣らぬ　近來益々健康の加つた松川大將

國境巡閲の途上大將に陞進今回軍事參議官に補せられた松川大將が浴衣袴と言ふ輕い服裝で應接間に這入つて來るのを待つて榮轉の祝詞を述べると『私の方には何とも通知がないが新聞の電報と言ふものは早いものだね』と靜かに椅子に倚りながら『私は在鮮滿一年になるが

★一番嬉しい のは老來益々健康を加へた事だ、朝鮮は空氣が乾燥して居るので同じ暑さでも內地より快よい殊に朝夕が涼しいので暮しよい轉任と共に紅塵萬丈裡の東京に棲ねばならぬかと思ふと恐ろしい樣な感がする私は

★性來頑健 な性で明治廿七八年の役に臺灣で赤痢に罹つて以來は藥を吞んだ事がない程であつたが、朝鮮に來てからは元氣も若々たるもので這度の旅行でも若い將校連に負けはしなかつた、朝鮮はもう南鮮を始め北鮮地方にかけて遍ねく視察し次いで八月初旬には

★豆滿江岸 の守備隊を巡閲する豫定であつたが轉任となれば中止の外はあるまい然し參謀本部に在勤中親しく該方面から間島にかけて觀察した事があるから大體の事は解つておる』

▽朝鮮で終生暮したい　立花新第四師團長は北鮮旅行中

立花新第四師團長は目下北鮮地方巡視中であるが留守宅にカン子夫人を訪へば『主人が出張中に引繼めの準備を致しませんと後で混雜致しますので今日からぼつぼつ荷造りを始めました』ハイ轉任の

★★內令は主人が出張致す前に陸軍次官から受け取りましたから今度こそは昨年四月のやうに立消になるやうな事もあるまいと思つて居りました、朝鮮に參つたのは大正四年の十二月でありましたが朝鮮は氣候が宜しく空氣が

★★淸淨で 御座いますから東京よりも健康に宜しいやうに思はれます、先日も軍醫樣の御診察を受けましたがお腹の肉が增たとか申て大層壯健になつたと仰しやつて下さいました主人も朝鮮が非常に氣に入つた、終生此方で暮したい、なんなら

★★本宅を 作つても宜いと申て居りましたが、子供の教育上さうも參りません、ハイ子供は長男が今年二十八歲長女が二十六歲二女は今年女學校を出ましたが女學校の教育だけでは將來が不安心だと言ふので今は女子大學に通學致して居ります、丹醫譯で新任地に呼び寄せやうかと

★★主人と 相談しましたが大阪は社交界が大分進んで居りますから忙しい事だらうと思つて居ります』と流石に榮轉の喜びは色に溢れて居つた

奇しき因緣　▼出發間際に母堂　▼逝去の報知を得た　金久保少將曰く

師團長官邸を出て、新任旅順要塞司令官金久保少將を訪へば久しく病褥にあつた母堂テウ子が二十二日午後三時逝去せられた悲報が著いた計りの處で官邸內は移轉の準備と見舞客で

頭腦明確　▼學生時代から親孝　▼行で評判の高い　新任軍司令官

尙新任軍司令官宇都宮中將に就いて松川大將は語りて曰く『宇都宮中將は私が大學校に在職中學生として入學したと言ふ外私交上にも何等の關係もなかつたので委しい事は知らぬが頭腦が明晰であり膽略の人であり且つ沈默寡言の人であると言ふ事は知つてゐる、確か日露戰爭當時は英國の公使館附となつて居て大いに

◆某方面 に活動した事もあり參謀本部では部長になつた事がある、親孝行の人で學生時代から評判であつた

武人典型　新任高島第十九師團長

立花第十九師團長の後を襲ふ可き高島中將は私が師團長時代京都の旅團長であつた眞に武人的典型で酒は立花中將よりも强いかとも思はるゝ程の酒豪である、故陸軍中將高島鞆之助氏の養子である

○金久保旅團長（要塞司令官）

★非常に取込 んで居た少將は記者を應接間に導いて『母は今年の三月米壽の祝ひをしたのですからどちらかと言へば永生きをした方です、私は何の因緣か兒

★這麼時局に に際會して母を亡つたのだから不思議です在鮮二個年間の感想つて何にも有りませんが只地方へ行と一等道路の橋梁が年々流失するのが殘念です

や父の死んだ時は臺灣や滿洲に居つていつも死目に遭はなかつた、然もいつも定つて國家的の動亂が起つたが今度も朝鮮に居つて

▽奥床かしい武人氣質　家庭の古海新任第十七師團長

新任第十七師團長古海中將を官邸に訪へば折しも同夜軍司令官邸に於て開かれる金久保少將送別晚餐會に列席のため

★夫人が 手づから將軍の髮を理ため居る最中と聞きて辭して副官に會つた、副官は滿面に微笑を湛へながら『將軍の轉任の事は今日初めて聞きましたが

★意外に 早やかつたやうです』と喜びながら『將軍は此殿で理髮をして居られます』と云つた、夫人が手づから將軍の髮を理ためてゐると聞いて武人氣質の云ひ知れぬ奥床しさがしみじみと感ぜられた

○農旗を侮辱したと　農民の大格鬪　重輕傷者を出す

朝鮮では昔から農村の各部落毎に農旗があり毎年夏から秋の收納季にかけて部落民は共同で農事作業に從事し各部落の農旗には新舊の別があつて

▲旗の歷史 の舊いだけ巾が利き新參旗の部落民は古參旗の部落民と其の農旗とに對して敬意を表せねばならぬといふ舊來の慣習が今日迄傳はつてゐる是れが爲め各部落間に昔から農旗が原因となつて紛擾を醸した例は尠くない本月十八日午後四時頃京畿道安城郡邑內面道基里と隣村桂村里と両部落民が

▲入り亂れ て格鬪の結果重輕傷十名ばかりを出した椿事があつた原因は同日桂村里の者十八名が今年新調した農旗を押立て共同で水田の草取り中隣接して道基里の者二十餘名も部落共同で同じく『汝の村の農旗は今年出來た新參であるから俺の村の旗に敬意を表せよ』と申込んだもので其の押問答中道基里側の者が突然桂村里の

▲農旗の旄 （竿頭の羽毛）を奪ひ取つて凌辱したので茲に農具をもつて撲り合ひの大格鬪が演出されたが元來桂村里は五十戶の小部落で道基里は遙に大部落の爲め桂村里側の敗北となり同里の白萬（三）李弼九（四）の兩名は一時人事不省に陷る程の重傷を負はされ外數名も輕傷したといふ騷ぎに急報に依つて安城署から多數の警官と永登浦署からも應援警官が[illegible]

○金剛山を三日で往復　したのは古今未曾有だらう

山縣政務總監一行と共に金剛山を視察して歸京せる久保滿鐵理事の談片に曰く

京城から往復三日で金剛山の內金剛を觀て來たが恐らくそんな早い金剛山探勝者は前にないかとも思ふ、實は內金剛のみでなく外金剛も一巡し

◆◆自動車 で溫井里から元山の葛麻に出る豫定であつたけれど葛麻溫井里間の道路が雨のためよくないといふ事を聞き內金剛のみで引返した、金剛山の雄大な景象に就ては予は唯偉觀壯絕を感じたと云ふのみに留めやう、唯餘りに雨が以前に降つたため明鏡臺と萬瀑洞は遂に之れを探るを得なかつた、然し一失一得で水勢が盛んであつたから萬瀑洞の如き流水奔瀉實に

◆◆凄しい 程の盛觀を呈して居た長安寺のホテル分室は寺內の樓樂を以て充てゝゐる、唯便所とか浴場とか室の仕切りなどに遺憾の點がないでもない、又ホテルと云ふより英國あたりで云ふ田舍喫茶店と云つた方が適當であるがこの不足の點には多少の手を加へたいと思ふ、西洋人數名の滯在があつたが何れも喜んでゐた、京城から長安寺までの三十餘里は新たに道路はよく修理せられてゐる、唯末輝里間に於て道路はよく整備してゐるも末輝里

◆◆長安寺 の間は過般寄附から金を寄附して修理をして貰つてゐるが新道で雨後なためブクブクして車輪もメリ込み十分でない今少し手を加へる必要があるであらう、予は此の秋頃總監の御都合を聞いて又紅葉の金剛山に御案內したいと思つてゐる、二十一日は可なり山中を步いたが總監の健脚には驚かされた、どうも若い者が弱つて年長の總監は

◆◆平氣で ゐられる、正に年の多少と疲勞の多少が反比例してゐる、と云ふのが總監は常に京城でも步行の習練を積んでゐられて謂はゞ現役である、所が予等は平素無性をしてゐるので豫備若くは後備に入つてゐる、イザ實戰といふ時現役の總監の健脚が吾々から異常に見ゆるのは當然である

○魚が高いと言たつて何も　それや魚屋のせいぢや御座んせんや……魚屋の言分

京城は魚が高い〳〵と御樣が仰言いますがこの節のやうに魚の尠い時にや高いのも無理はありませんや、それでなくたつて夏は品の痛みが激しいと來て、朝は百目五十錢取いた

◆鯛も晝 からはその半分にも賣れません、だから假令一匹でも一匹五十錢でも儲けやうと思やあ、この節の開きだけは朝賣る魚に如當て〻五十錢のものは六十錢も取らなくちやならないし、それだけ魚も高くなる譯でさあ、何處かで、儲け出さなくちや可哀相に家內中の顎が乾上つちまはあれ、所が魚の高いのはまだ〳〵それがりぢやない、この節のことだから氷もいる

◆刺身を 賴まれりや取合の一つやワサビ位はつけて出さなきやならないくちやならない、それは魚屋が勉强するんだらうつて？箆棒め―その勉强が出來る位なら魚屋なんぞするものですかい、これも矢張お得意樣の懷にか〻る、……とまあ、旁々魚は益々高くなる

◆云ふ譯 なんですれ、然し法外の値段とは有ません、一體彼方の者だつて法外の値段を吹掛けてゐるのぢやありませんよ、これは仁川や釜山の小賣値段と比べて貰へば直ぐ判る、仁川や釜山よりは安くあつても京城の方が高いと云ふことは金輪際ないから私、又法外の値段を[illegible]つてそれで世間が承知するものなら魚屋だつて成金になりますされ、要するに……などと云ふと頗る非常に生意氣だが詰り此節魚の高いのは何處も同じ何とやらで

◆京城が 取り分けて高いのぢやない、尤も數ある魚屋の中にはボル奴が居るかも判りませんがこれは論外、そこは奥さん女中さんの御用心もので私の話は極打明けた所ですよ

○暑さは未だ　まだ之からだが然し　廿四日は今年中の暑だつた

今年は例年よりも涼しいと言はれてゐるが土用に這入つてから減切り暑さが激しくなつた、之れを昨年の暑さに比較しての京城測候所員の談に、昨年は六月初めから暑さが酷しかつたに引き代へ今年はやつと七月下旬の昨今になつて稍暑くなつたやうなもので、昨年中で一番暑かつたのは六月十六日の九十八度一分であつたが今年はまだそんな暑い日はない、今年も是から先には幾等か暑さも加はるであらうが今日迄の經過では二十四日に九十度昇つたのが最高となつてゐる位のものである、先づ今日迄の暑さから見て今年には耐らぬやうに暑い日は割合に少いことであらうと

○涼しい東京言葉で　◇◇時々は洒落も言ひながら◇◇

お得意の　昆虫の話に暑さも忘れて御機嫌の　新任京城佛國總領事　ガロア氏

涼窓に入れられて盛を被せられた樣にして眺めて居る氏は東京同國大使館書記官時代から昆蟲學者として相當に知られた人で日本で採集した數でも既に五萬に達するさうだそして在佛關西總領事として來任したガロア氏は玉なす汗を拭ひもあへず熱心に

◆昆蟲の標本箱 を開いて客に『此の蛾は私が無料で取つて來たのでしよう、だから私の名が●●●●なんです』と東京駐在十有六年『すつかり日本人になつて了ひました子供達が日本語でだゝを捏ねます』と云ふ位で自ら江戶ッ兒と稱して居る位に快活な流暢な日本語で昆蟲の說明をする間も洒落と輕い諧謔な警句みたいなものが飛自慢なも雜へて口を突いて出る前には五六人の自稱昆蟲學者共がイガ栗頭を突き出して訳しなく無性に感心

◆賜暇歸國の際 之を携へて巴里の博物館へ寄附したが數が四萬を越えて居ると此の事その爲めに氏は同博物館の委員に擧げられて居る程だ『私が昆虫の採集を始めたのは日本へ來てからの事です世界で一番昆虫の多いのは濠洲でお次が日本だと私は聞いて居ます日本に昆虫の多い譯は小鳥が少い爲めだと思ひます日本人は聞き馴れて居るからそうでもありますまいが吾々外國人は山に行くと小鳥の囀る聲が聞ねなくて山が寂として居て氣味惡い位です小鳥は蟲を食ふものですから

◆網で取る事を 止めて今少し保護法を講じたら什うでしよう之が多くの害蟲の爲め年々荒さるゝ作物は莫大なものでしよう昆虫の研究をすると今迄判らなかつた害虫の發見する事も出來れば又其害虫の習性に依つて適當な驅除の方法も講ぜられ其害虫を殺す益虫の事迄も判つて來て面白いものです先年も色んな事がありました私は日光へ度々採集に參りますが或年御料林の木の葉が皆んな無くなつて山が坊主になつたので調べて見ると山毛蟲が發生して木の葉を食つたものと知れ宮內省邊りからは技師が派遣されるやらで大騷ぎになりましたが私は其處で

◆今迄見た事の 無い一種の甲蟲を手に入れ色々と研究の結果此蟲は毛蟲を喰ふ益蟲だと云ふ事が判りましたつまり其毛蟲の發生した年で無ければ此益蟲も見る事が出來ないのでした所が[illegible]

樣な害蟲の大發生は或週期に持つて居て大底十年目十年目にある樣です朝鮮は幸ひに蟲が少いと思ひます三宅博士ですかあの方は朝鮮の昆蟲研究に近い內に京城へも來られる筈で私は實は待つて居ますよ、エヽ私とは學生時代からのお馴染ですよ』氏が今持つてゐる昆蟲の數はザット一萬許りで之れを入れた

◆箱が百五十箇 ほども普通の大きな櫃にギツシリと詰つてゐて小は粟粒程のものから大は[illegible]の一パイもある蛾や[illegible]から贈られたもの其他三宅博士が見て涎を流すと云ふ珍種東京附近で『閱兵式の[illegible]』になつたものやらが氏が『[illegible]』と云つてゐる美しい樣々の甲虫の行列などがコルク底の桐箱に整然と採集の年月日及び場所を小さい黄色の紙片に印刷したものを一匹毎に附けて列べてある一通り見る丈けでも四五時間はかゝる氏は一日中見てゐても倦かないそうだ之丈けのものを蒐める氏の精力には敬服せざるを得ぬ

○兒玉將軍追悼會　廿四日は恰も故兒玉將軍の第十三回忌に相當せるより同日午後四時より關屋學務局長邸に於て故將軍に尤も緣故深き人々に依り追悼會執行され若草町曹洞宗別院高田老師、持地遞信局長官、荻田總務局長、永登浦朝鮮皮革會社長賀田直治氏外數名の參列ありたり

○天地人身如意法　東京の僧侶太平圓應師は各地巡錫の途次入京目下壽町長州館に滯在し居れるが二十五日より同館に於て天地人身如意法と稱する施術に依りあらゆる疾患を治療することゝなれり施術の利き目最も著しきは眼病、脚氣、肺病、喘息等にて殊に頭痛、腹痛、耳痛の如きは一回の施術にて立所に平癒する由なれば何うか試みて見るも面白からん

○金久保少將母堂逝去　新任旅順要塞司令官金久保少將母堂てふ子は二十一日午後三時逝去せり

京日案內

・社告　七月廿日より京日案內廣告料金左の通り改め申候
普通（壹回）（前金）七拾錢
番外（壹回）（從來通り）（前金）金壹圓
匿名（壹回每增加金）貳拾錢
大正七年七月廿日　京城日報社

普通　一回前金七拾錢　番外一回前金（假名一回毎に廿錢增し）
▲▲▲申込中後滿…前日…の御申込は特に…返信附…あらされば回答せず

◎求貸家　住宅向間數五位　清潔なる家を求む（雜名在社）

◎外交及內勤店員入用　年齡二十五歲前後より卅歲前後（至急入用）但し甘露…京城南大門通ミノヤ自轉車店

◎鮮通立替御報何上候…

◎十四五歲小僧入用　旭町一丁目　電話二〇二五　山本メリヤス雜貨店

◎採用　簿記係　店員　一名　米穀商　但不問年齡　南大門通五丁目　電話二八一〇　齋藤商店

店員募集　但し吳服商に經驗ある十二三歲より廿歲迄の者數名採用す身元引受證持參來談あれ　京城本町一丁目　ますや吳服店

◎避暑　最好適地樹木繁茂　市外十町餘　間數七間貸　御希望の方は電話九三五番へ

◎女中入用　高給を與ふ至急本人來談あれ　黄金町三丁目電車通　大阪ドラツク商會

◎牛乳の用意が出來ました　蓬萊町　▲電話五二一番　東亞牧場

年金恩給　低利長期即時立替　保險不要　前借利息前引なし　京城永樂町一　商品陳列館前下角　江州屋本店

◎ほねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依賴に應ず　明治町　柔術道場

恩給年金立替　五年年半年分迄　利一　無保險　電話二三九一番　京城若草町　光教會裏手　國江商會

◎礦物定量分拆　京城南大門內公立…丁目（電長三四四）　坂元分拆所

舊恩給立替　五ヶ年半迄利子　取引一步二厘本人直接　櫻井町一ノ一九八　長電五二〇番　博多屋本店

流經新藥レスメリン　月經　閉止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を達し其效果他藥に優越す　藥價一瓶…說明書…　大阪北區曾根崎上二丁目三六地　常盤藥院

好評經濟的事務用　金ペン付　パイロツトビジネスペン　定價壹圓九拾五錢　京城太平通一丁目　京城日報代理部

土用うなぎ　京城旭町一丁目　電話二八一一五番　出雲屋

くだりはら　下痢　腹痛に

健胃固腸丸　登錄商標　直ぐ持ち氣が良く止り腸胃を强健にす　藥價　三拾粒入五錢　七拾粒入拾錢　二百粒入貳拾五錢　四百三十粒入五拾錢…　▲服用し易き小粒　▲兒童用の小兒固腸丸もあり　○各地藥店に販賣す　本舖　大阪伏見町堺筋角　谷田春堂

花柳病專門　外科　●梅毒●痳病●泌尿生殖器病●痔瘻●肛門病●皮膚病●婦人病●神經衰弱ヒステリー　京城南大門通農工銀行裏　司生堂醫院　電話三〇六五番

山田耳鼻咽喉科　福田齒科醫院　電話二二七七番　京城（茶座院）

▲化學用　▲鑛山用　白硝酸　硫酸　鹽酸　醋酸　各種藥品問屋　御照會次第値段申上ぐべく候　京城明治町貳丁目　島久京城出張所　電話一四四四番　振替京城六七七番

內科　小兒科　村上病院　京城永樂町一丁目（商品陳列館前）　電話六一三番　院長　醫學士　村上龍藏　副院長　得業士　瀨々鉚郎

警務總監部認可　蠅取散　衛生無害　定價壹個金拾五錢　はいを殺すは之より早き法なし室の內外を問はず小量を撒布せばはいは直に死する事請合其外あらゆる害虫にも有效保證
かとりせんこ　定價壹箱二十卷入金貳拾錢　火の代用として壹時間以上を保ちカトリ用として此以上の品なし
各地特約店御希望の向は御照會を乞ふ　朝鮮一手販賣店　京城府黄金町三丁目一九一番地　山本商會

土用うなぎ　仕出仕候　本月は特別大勉强致候間多少共電話二〇四六番へ御用命の程奉願上候　京城旭町一丁目（電話二〇四六番）　川魚御料理　會席仕出し　權平庵　中井ゆく

化粧品石鹸問屋　伊勢勘　あらゆるもの無手數にて取扱申候　大阪市南久寶寺町三丁目　振替大阪二六二五番

外科花柳病　內科婦人病　入院隨意　醫學士　齋勇　醫士　齋豐次　京城本町五丁目稻荷座前　電話二〇二二番　大和病院

資本金六百萬圓　株式會社　十八銀行京城支店　京城黄金町電話四〇、五八〇番　振替貯金口座京城八一四番　同　龍山出張所　龍山元町二丁目電話一八番
弊行ハ各樞要ノ地ニ爲替取引店有之諸預金貸付其他送金荷爲替代金取立等銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候間多少ニ拘ラズ御取引願上候◎右ノ外株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

外科皮膚科醫院　瀨戶　京城旭町二丁目（舊三丁目）　電話二四九八番　醫學士　瀨戶潔　（診察夜九時迄）

妻の心（四十七）

八の一　小林蹴月作　武内桂舟畫

『貴郎、お起き遊ばせ。もう九時で御座いますよ。』

お芳に揺り起されて、漸と眼を覺ました久三郎は、衾の中で大欠伸を爲たまゝ、容易に夜具を跳ねのけて、起き出でやうとも爲ないのであつた。

『新聞がお枕頭に置いて御座いますよ。又先日のやうな事が掲ると不可ませんから、氣を付けて御覧遊ばせ。』

『莫迦な、然う度々素破ぬかれて堪り怖があるもんか。どれ、徐ろに御輿を擧げると爲やう。』

『餘程重いお御輿と見えますわね。もうちやんとお誂へのお膳も出來てますのよ。』

お芳は、此の間のいさくさなどは、全く忘れて了つたやうな晴々しい輕快な氣色で、頻りと久三郎を促がすのである、其處が乃ちお芳が擬性の價値ある處であらう。

『然うかい、お前にしちや大した活動振だね。昨夜ばかりは久し振で、手足をゆつくり伸ばして寢たやうな氣がしたよ。』

『ほ、ほ、ほ、大柳若龍さんの夢でも御覧になつたんでせうね。』

『又そんな下らん事を云ふのか。昨夜も話した通り、若龍の奴は櫻井に傭奪されて了つた形だから、綺麗に斷念さ、斷念した女の夢を見るなんて、そんな不見識な人間があるものか。は、は、は。』

久三郎は、豪傑式の笑ひと共に起き上つて、例の廣くもない庭を眺めた。糸のやうな雨が相變らず降つて居る。妾宅の雨は又、格別にしんみりと爲て好いと思つた。彼の頭には今、親子の事も親族會議の事も、全然忘れ去つて居るらしいのである。

『ほ、ほ、ほ、貴方の口で被仰る斷念ほど當にならないものは有やしませんからね。』

『有やしませんと云つても、此處に一人確者と云ふ者があるから仕方がない、……では變だが、そりや然うと、お芳さん、芳子君に一ツお願ひがあるんだ。』

『厭で御座いますわ。お芳さんだの、芳子君だのつて、何か御用……?』

『無論御用があるから、お願ひと云つとるんぢやないか。いや、冗戲ではない、酒を飲み出してからだと、お前は直に醉漢の云ふ事と思つて、好い加減に聞き流す癖があるから今の內に云つとくのさ』

『何だか知りませんが、大層お堅い式ですわね。身に叶ひました事なれば何なりとも御聞遊ばして下さりませう。』

お芳は、忽ちその地金を現はして、洒落半分の假聲交りと出かけた。

『おい、巫山戯ちや不可、假聲ごころぢやないんだ。お前に取つては、隨分迷惑な事かも知れんがね、乃公は愈々町川家を放逐されて了ふかも知れんのだが、然うしたら當分の內、此の家を根據地に構へてお前と二人で同棲せにやならんが、お前、異議があるならあるやうに云つて貰ひたいもんだね。』

『何事かと思つたら、まあそんな事なんで御座いますの。妾に異議などのあらう筈はないぢや御座いませんか。それこそ願つたり叶つたりで御座いますわ。殊に貴郎、此の中も産婆さんに診て貰ひましたら、もう岩田帶に近いと申すんで御座いますの、貴郎が側に在ツして下されば、甚麼に氣丈夫だか知れや爲ませんとよ。』

『然うか。もう岩田帶に近いと云ふのか。乃で引つゞいて起る問題は、その子が無事に產れた時の入籍問題だが、お前はたしか、此の家の女主人と云ふ事になつて居たやうだつたね。』

『左樣で御座いますわ。妾の方は寡婦暮しの女主人と云ふ事になつてとりますの。』

『だから若し、男の兒でゞもあつた日には、私生兒にしとく譯にもゆかんし、是には甚だ當惑だね。』

『なあに貴郎、その時が來れば來たで、何とか方法の付くもんで御座いますから……今から心配する程の事はありませんが、妾それよりか心配でならないのはお宅の奧樣のこつて御座いますわ。』

お芳は表情に富んだ黑味がちの瞳を熟と凝らして、魅するやうに久三郎の顏を覗上げる。

補血強壯のふり出し藥　人蔘煎　一日分十錢　十日分九十錢　廿日分一圓[illegible]
婦人病の妙藥　京城府大和町二丁目　朝鮮化學製藥株式會社　電話二三二六番

牛乳試驗

◇◇豐福醫學博士談◇◇

夏季の哺乳兒に就て注意すべき事は人工營養に用ふる牛乳である、夏季に牛乳の惡くなる原因は色々あるけれども第一が其の需要量の著しく增大する事で之が爲めに勢ひ乳屋では乳を伸ばして

◇薄める憂ひがある第二には又僅な分量でも之を大切にする結果腐敗の傾向が生じても捨てないやうにする我々が毎日使用する牛乳は普通搾つてから消毒する迄十時間以上も經つて居るもので之れだけの長い時間でも可成り腐敗の機會が多いと云はねばならぬ之れに容器の消毒が不完全で往々危險の伴つたものである元々

◇牛乳の消毒 は一定度の熱を加へて殺菌法を講ずるが之は一應黴菌を殺すもの、其核はなかなかそんな事では死なゝいのである窒扶斯菌等に就て之を見るに攝氏六十度位で死んで了ふけれども其核はなかなか死なぬ其れ故核の生きてゐる牛乳は直に又腐敗するものである牛乳の善惡を試驗する方法として素人でも出來るのは先づ

◇其口の所を よく見るのである口の處だけが凝固してゐる位はまだ宜しいが全體の所々に半透明が出來てゐるやうでは最早面白くない更に瓶を斜にして水分と牛乳との間に塊が出來てゐるやうでは愈々不可ないのである若し嚴に其の善惡を試驗しようと思へば六十五乃至七十パーセント前後のアルコールを作り其れを乳一匙アルコール一匙宛

◇試驗管に入れて振つて見るがよい惡い牛乳ならば塊が出來まだ輕微な腐敗なれば雲狀のものが現はれる其れを斜に傾けて見て所々に塊が出來るやうでは全く腐敗したものである事を心得て置くがよい

◎輕鐵と晉州 ‖商人の覺悟‖

◇現今の晉州は暗黑時代は過ぎ秩序ある發展をなしつゝあるも一般に輕鐵工事中の好景氣を豫想し期待するが如き趨勢であるが晉州商人としては決して眼前の區々たる利益に浸頭せず開通後に應ずべく精勵して各般の事業を畫策すべき秋であるは論を俟たぬ次第である

◇五州輕鐵の一部開通後商權の伸長は地勢上易々たる事で晉州の爲めには最も有利なる線であるが金泉三千浦間の輕鐵が計畫さるゝこそは疑ひを容れざる處である金泉三千浦間の輕鐵は眞に晉州に取つては重大問題である

◇從來晉州の商權勢力範圍は居昌、咸陽、山淸等が有力なる圏內であるが同線開通の曉は地勢の關係上海陸を迂廻し高率なる運賃を要する晉州商品と低廉なる運賃を支拂ふべき商品との競爭は段の懸隔する結果大邱若くは金泉に營食さるゝ事は自然の趨勢であらう

◇吾人は何線を問はず鐵利の開發上輕鐵の敷設は双手を擧げて喜ぶ所であるが晉州と輕鐵は晉州經濟界に重大なる關係を有するが故に對應策を考究されん事を實業家諸士に希望する次第である（晉州）

◎群山海吟社　群山海吟社八月例會は同月三日群山本町野村[illegible]氏宅に開催の豫定なるが課題は秋近し、田螺、糸瓜各三句宛にて締切は七月三十一日限り當番幹事本町三友社內若くは榮町京城日報支局に投句せらるべしと（群山）

◎大邱の琵琶會　豫て滿鮮各地を巡遊し其の歸途にある關西琵琶界の名手前田旭心氏の大邱に來れるを機とし大邱琵琶研究會旭政、鮮の兩會共同主催在邱宮氏有志後援の下に二十四日夜市內上町在鄕軍人會集會所に於て同師歡迎琵琶會を開きたるが當夜の演奏曲目は左の如し

蓬萊山合奏（旭香、旭政）高田の馬場（伊藤旭輝）伊賀の曙（田中旭）香山內一豐（中川旭政）五稜本願寺（前田旭心）同廣德寺（同）

日報俳壇

▣水無月會詠草　田草取　（瑞巖選）

小鶺鴒追ふ兒の唄や田草取　台翠
面長の軀ひ行くや田草取　同
水喧嘩もなくて長閑や田草取　同
田草取る笠に陽が照る山田哉　素人
學徒出て田草採る妙器械哉　同
牛の脊に運ぶ害鮒や田草取　樂天
水鄕の唄朗かや田草取　同
鷺立ちて迫る暮色や田草取　同
汽車の烟靡く田の草取哉　悟山
田草取り戻る夕日の徑かな　同
空を飛ぶ鷺の羽音や田草取　同
田草取の欠伸して居る夕べ哉　同

◎清州旭吟社詠草

水漬けて眼涼しき金魚かな　渭川
夏草に山門殘る丘越かな　同
鶴の子の梢上に鳴きて明易き　綠山
蚕人を縫ひ寄る旭や青田風　同
歸省して明易き夜の縫き哉　芳洲
雲の彩る天水桶や夕立晴　同
明易き漁歌が流るゝや船の波　一水
ギヤマンに金魚泳ぐる机上哉　初心
雨を乘せし雲脚垂るゝ青田哉　桃川
門出て心耳澄みけり青田風　悟竹

口草月鈔

▽頬のおしづみ行く柿の夕月に
船の鼓遊びろごりて水寂れ初めぬ　青瓦
▽月に冷けてある萍や蛙鳴く
時降りの來ずなりし午の櫻桃照る　鷺尾
▽朝顔や夜通して乾せる竿のもの
川舟に乘り遊ぶ兒や蝉の聲　雪女
▼[illegible]　瓜青

◎法律講義錄　今回東京神田の[illegible]に開校せる實用法律通信學校より發行せる法律講義錄は專門問題を主眼とし易く通したるものにして眞に理想的講義錄なり

讀者の領分

▲近頃若草町夜店の緣日に於て夜九時前後から十一時頃迄も或る商人が三十前後の一見紳士らしき男が多人數な黒山の樣に集めて、色々つまらん商說をなし終りに『長壽の匙』なんと云ふ物を取出して美味い口舌で此物の內容を說き立ていかにも此の藥を買はねばならんかの如く內務省衞生試驗所公定價は三十錢だが特別割引で十錢で賣るからこの匙を買求めて宅に歸つて見てくべし表紙共に五六枚二號活字に四號活字でつまらん書物で、印刷紙代共に四錢位の物が十錢で賣るとはあきれて物が言へなかつた（喰はされ生）▲私の家の近所の氷屋には何時も不良の冷水ばかり買つて其れを平氣で飲料に賣つて居ますが衞生上差支ありませんでしようか實は先日も一杯氷水を飲みに行きましたら中に泥が有りましたから其まゝ歸りました實に不潔なる日紙に借りて一寸皆樣へ御知らせ申上ます（南大門外生）▲ある病院ではパラチブスや赤痢患者を收容して居るさうだが聞く處によると學校の附近に普通の病院があるのでさへ學校衞生上宜しい事でない殊にて不完全な隔離病舍に傳染病者を收容して置くと云ふ事は好くない事と思ふ其の隣の蠅も蚊も學校のものと親類筋合同一物なり之れを詳細に調べて見れば實に堪ぬ事實が擧るだらうと思ふ之れら夏季一層其注意を要す傳染病丈けは何とか當局者の一顧を煩はしたい（父兄生）▲今度新任せられた[illegible]の郵便局長さんは規定の出勤時間より何時も一時間位遲れて出勤せられますから勢ひ雇員の方も其通りにて地方民の不便を感ずる事言語に盡しがたし非常の御注意を願します（狄頗生）▲八月一日より煙草に消費稅增課あるに付ては煙草の代も高くなるに付此際保健上より又家計上なりの都合にて禁煙いたしたいが禁煙の良藥或は良法ありて實驗して効能を認められし方あらば藥名或は方法を本紙にて御教示下されたし禁煙の組織して禁煙いたしたいから御願ひいたします（喫煙生）▲京城日報に出るやうな丸屋は外にはありませんから取つて居ますが御ついでに外に相學少々づゝ付け加へていただけばなほ有難とう御座りますが如何でしようか御伺ひ致します（柔氣生）▲成る可くさう致す樣に考へて見ます（係）

◎新羊毛輸入難　▲絶對に不可能

昨年新羊毛の出廻り期に際し本邦[illegible]せしより將來羊毛の本邦輸入は粗惡なるものを多量に而も高値に買付けたる點に於て大失敗に歸し[illegible]斯界に禍を及ぼしつゝある英國政府は昨年に於ける失敗を顧るべく從つて本邦毛織物業者特に[illegible]きつゝありと雖も新毛の前途が如何[illegible]用新案七千七百三十七件意匠登錄[illegible]權を受くるの手續に及ばざる僞造[illegible]を逃し遂に外國の盟[illegible]

治疾丸　百毒下し
下毒便通劑として好評嘖々
●ばい毒●そう毒●しつけ一切によし
定價　十錢、十五錢、卅錢、五十錢、一圓、一圓五十錢
同名類似あり商標に注意を乞ふ　登錄商標
本舖　伊勢四日市赤堀　藥學得業士　加藤翠松堂
振替　東京三〇八五番　大阪一一九八番
名店にあり有名藥

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士　法學士　加古貞太郎先生序文
前韓國財政顧問附財務官　小笠原寬先生序文
法政大學校友　關西大學校友　越智唯七編纂
大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢　本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然たるもの道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日鮮清西歷の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の概況を揭げ
本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者、交通產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也
發賣元　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

林病新藥　ツヨール
故下山藥學博士、慶應大學[illegible]博士證明、[illegible]博士實驗、[illegible]博士、岩川醫學博士七[illegible]
◇本品は殺菌力を有し且絕對に胃腸を害せず　淋疾、膀胱カタル、尿道炎、副睾丸炎、前立腺炎、消渴其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
説明書無料贈呈
製造元東京上本橋ツヨール商會　發賣元大阪道修町・田邊五兵衞　振替大阪八六七番

頭髮衛生の一大權威　皮膚一切に靈効ある
香水代用品　フケシラズ
警視廳衛生試驗所認定
◇効能◇　一脫毛、一こせ毛　一逆上性、一薄毛　一產前產後　脫毛期　かみそり使用後
定價　大壜　中五十錢　小廿五錢
日米靜養舍

宮內省御買上品
一番喜ばれる中元暑中の御進物は
原料香水　オリヂナル　に限ります
カオル本舖　東京　安藤井筒堂

新荷着
銘仙ゆかた地
●白地、及び藍色地で、かすり、縞、格子類
一反　金拾圓より金十二三圓迄　●送料　鮮內十二錢　鮮外三十錢
輕くつて凉しい、その着心地を味ひ給へ
◎地方よりの御注文は男女年齡柄向きの御嗜好等御申越し下され候はゞ必ず適當の柄相選み代金引替を以て御送り可申候
京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

百圓　りん病　ばい毒　帝國醫科大學病院　百圓進呈
大阪有田ドラッグ商會　京城南大門外停車場通
にせ物と好商

日本郵船出帆

◎大連、天津牛莊行
相模丸　七月　日
酉田丸　七月　日
×高砂丸　七月廿九日
船客御斷
仁川海岸町二丁目（電話十番）堀回漕部

阿波共同汽船出帆

大連直行（關東都督府命令船）
一共同丸　七月廿四日　後入港
七月廿五日　前出港
朝鮮鐵道主要驛に於て荷客連絡取扱
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）阿波共同汽船株式會社
元山代理店　南大門　京城取次店

大阪商船出帆

神戶、大阪行（仁川出帆）
×安東丸　七月　日　正午出
群山大阪行
西湖、鎭南浦、新義州行
須磨丸　八月一日　後十一時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
宮島丸　七月廿六日　後九時出
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　八月十二日　前四時出
基隆丸　七月廿四日　後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行　每年四回
南米行　每年四回
北米行　每月一回
濠洲行　每月二回
孟買行　每月一回

朝鮮郵船出帆

◎浦汐行　大阪發門司釜山元山城津經由
平壤丸　七月廿七日　元山發
平安丸　七月　日　元山發
◎雄基行　釜山各港經由
京畿丸　七月廿七日　元山發
咸鏡丸　八月三日　元山發
◎元山雄基線
穩城丸　七月廿五日　元山發
◎大阪行　神戶經由
越後丸　七月廿八日　元山發

尼崎汽船出帆

下關、大阪直行
第一大湖丸
群山、木浦、釜山下關、大阪行
君が代丸　七月　日後四時出
大有丸　七月　日後四時出
仁川海岸通二丁目（電話五九番）高杉回漕部

釜山出帆廣告

◎元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸　七月　日後四時出
◎門司、宇品、神戶、大阪行
第三琴平丸　七月　日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行
天眞丸　七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部